

# リファレンスマニュアル

(Windows 版及び Mac 版共通) (求積ツール Light for ARCHICAD 共通) (Archicad27 対応版 Ver11)

# 目次

1 システムについて	1
1-1 はじめに	2
1-1-1 主な機能	2
1-2 本リファレンスマニュアルについて	3
2 システムの操作	
	6
2-1 4ンハノムの起動と於 ]	0
2-1-1 本システムを絶到りる 2-1-2 木システムを終了する	0
<b>2-72</b> 本システムのワークフロー	
<b>2-3</b> 用語の定義	
2-5 記号・番号について	11
2-6 求積ツール要素の編集について	11
2-7 レイヤーについて	11
3 メインパレット	12
<b>3-1</b> メインパレットについて	13
3-1-1 集計対象階を設定する	14
3-1-2 現在のフロアの計算内容の他のフロアにコピーする	15
3-1-3 計算パターンを追加する	16
3-1-4 計算パターンを複写する	16
3-1-5 計算パターンを削除する	17
3-1-6 計算パターンを選択する	17
3-1-7 端数処理パターンを選択する	17
4 自動分割区画	18
<b>4-1</b> はじめに	19
4-1-1 自動分割区画パレットについて	19
4-2 編集コマンド	20
4-2-1 自動分割区画を自動生成する	20
4-2-2 自動分割区画を解除する	23
<b>4-2-3</b> 自動分割区画の元ゾーンの更新をチェックする	23
4-2-4 自動分割区画を更新する	23
4-3 自動分割区画リスト	24
5 求積図形作成	26
<b>5-1</b> はじめに	27
5-1-1 求積図形作成パレットについて	27
5-2 編集コマンド	
5-2-1 任意求積図形を作成する	
<b>5-2-2</b> 任意求積図形作成の指定点順序	29
5-3 求積図形リスト	

5-3-1	求積図形の順序を変更する	31
5-3-2	:求積図形の番号をリナンバリングする	31
6 面積表	<b>長作成・編集</b>	
<b>6-1</b> はじ	めに	
6-1-1	面積表作成・編集パレットについて	
6-2 計算	寛パターンリスト	
6-2-1	計算パターンリストの見方	
6-3 編集	ミュマンド	
6-3-1	- 面積集計属性を追加する	
6-3-2	・小計フォルダを複製する	
6-3-3	- 面積集計属性を削除する	
6-3-4	・小計フォルダを編集する	
6-3-5	計算要素を編集する	
6-3-6	・小計フォルダの計算式を改行する	40
6-3-7	'計算要素の計算式を改行する	41
6-3-8	計算パターンリストの表示項目を設定する	
6-4 빗ス	ト切り替え・各種リスト	
6-4-1	自動分割区画リスト	
6-4-2	計算要素リスト	
6-4-3	家積図形リスト	
6-5 自重	カ分割区画リスト	45
6-5-1	自動分割区画を割り当てる	45
6-6 計算	草要素リスト	
6-6-1	計算式表示の種類	50
6-6-2	と色について	51
6-6-3	計算要素リストの表示項目を設定する	
6-7 求利	責図形リスト	53
6-7-1	求積図形を割り当てる	53
6-8 プラ	シに変更がある場合	56
6-8-1	自動求積区画を更新する	56
6-8-2	住意求積図形を更新する	63
6-8-3	* 求積表及び求積図を更新する	64
7 表出ナ	ታ	
<b>7-1</b> はじ	めに	
7-1-1	「出力の設定」ダイアログ	
7-1-2	: Excel 形式で出力する	69
7-1-3	- CSV 形式で出力する	70
7-1-4	. ワークシートに出力する	71
8 環境語	没定	73
<b>8-1</b> はじ	どめに	74
8-2 端数	如理	75
8-2-1	面積の切り上げは1つ下の位で処理する	75

8-3 モード設定
8-3-1 図形番号編集のモード選択について77
8-4 計算パターン
8-4-1 計算パターンリストの見方
8-4-2 計算パターンの作成・削除80
8-4-3 計算パターンリストを編集する82
8-5 記号・番号タイプ
8-5-1 記号サイズ及び寸法サイズについて86
<b>8-6</b> 面積表
8-6-1 求積図形求積表
8-6-2 計算要素求積表・小計フォルダ求積表・自動分割区画求積表88
8-7 建物面積表
8-8 図形 1
8-8-1 三角形
<b>8-8-2</b> 四角形
<b>8-8-3</b> 台形
<b>8-8-4</b> 垂線タイプについて91
<b>8-8-5</b> 斜線タイプについて92
<b>8-9</b> 図形 2
8-9-1 扇形・弓型
<b>8-9-2</b> 円弧(3 点)·円弧(中心)
<b>8-9-3</b> 正円
<b>8-9-4</b> 楕円
9 注意事項
9-1 チームワークプロジェクトでの利用に関して96
9-1-1 チームワークプロジェクトでのメインパレット96
9-1-2 選択したフロアで確保ができない場合97
9-2 ホットリンクデータの利用に関して
9-3 求積ツールオブジェクトを作成したデータの受け渡しについて
10 その他
<b>10-2</b> 各種設定ファイルの保存場所101
<b>10-3</b> サポートに関して

iv

# 1 システムについて

### 1-1 はじめに

- ○「求積ツール for ARCHICAD」(以下、本システムまたは製品版といます)は ARCHICAD のアドオンプログ ラムです。
- 入力済の 3D 建物モデルや 2D 図面から、求積計算を簡単な操作で効率的に行うことができます。
- 従来の設計業務の中で大きなウエイトを占めていた求積作業の効率化を図ることができます。
- ○「求積ツール Light for ARCHICAD」(以下、Light 版といいます)は一部機能に制限があります。

1-1-1 主な機能

○ 本システムは大きく3 つの機能から構成されます。



# 求積図形作成

求積図形を任意に作成します

自動求積図形及び任意求積図形の編集を行います

求積図形の情報を一覧で確認します

# 面積表作成·編集

計算パターンによって求積表を作成し、集計を行います

自動分割区画または求積図形を計算パターンに割り当てます

## 1-2 本リファレンスマニュアルについて

- ○本リファレンスマニュアルは、Windows 版とMac 版共通です。
- 本リファレンスマニュアルの画面廻りの画像は、Windows 版での表示です。
- ○本リファレンスマニュアルは、Light 版と共通です。
- 本システムをインストールすると Archicad ヘルプメニュー/ドキュメント内に本リファレンスマニュアルが登録さ れます。

# 2 システムの操作

## 2-1 本システムの起動と終了

2-1-1 本システムを起動する

○ Archicad メニューから起動します。

- 1) Archicad オプションメニューより、「求積ツールパレットを開く」を選択します。
- 2) 本システムのメインパレットが開きます。

```
2-1-1-1 Archicad オプションメニュー
```

オプ	ション(O) チームワーク(T)	ウイン	۴ŗ
	属性設定( <u>T</u> )	•	E
 $\otimes$	プロパティマネージャー		
₽	分類マネ−ジャ−		
	断面形状	•	ŀ.
Ĵ∎	荷重マネージャー		Ľ
₽₽₽	複合荷重		
₽	荷重マッピング		
†∎	荷重のカテゴリ		
F	自動包絡		
	求積ツール パレットを開く		
ŵ	アドオンマネージャ( <u>D</u> )		
	プロジェクト設定	•	
	作業環境	•	

2-1-1-2 メインパレット(製品版)



2-1-1-3 メインパレット(Light 版)



### 2-1-2 本システムを終了する

○ Archicad オプションメニューより、「求積ツールパレットを閉じる」を選択します。

○ メインパレットの「×」を選択します。

## 2-2 本システムのワークフロー

○ 本システムでの主な操作のワークフローです。



# 2-3 用語の定義

○本システムで使用する用語の定義です。

用語		概要				
	求積表の基とな	るもので、ツリー形式で構成されます				
11谷パターン/	複数の計算パタ	マーンを作成することで、一つのプロジェクト内で目的の異なる複数の				
	求積表を作成す	ることができます				
	※Light 版では	計算パターンを作成できません				
	面積集計の器と	なるもので、計算パターンのツリーを構成します				
	求積図形または面積集計属性を割り当てることで、面積を集計します					
面積集計属性	「小計フォルダ」と「計算要素」が含まれます					
	小計フォルダ	下層に含まれる小計フォルダまたは計算要素の面積を集計します				
	計算要素	面積集計要素を割り当て、面積を集計します				
云硅焦乱而主	面積集計属性に	こ割り当てることのできる要素です				
<b>山</b> 惧朱町安糸	「自動分割区画	」と「求積図形」が含まれます				
白動八割反兩	求積図形を自動	h的に生成した Archicad の要素です				
日期分割区画	複数の自動求利	責図形で構成されます				
	面積集計の基と	なる図形です				
	計算式および面	積が自動計算されます				
<b>十</b> 建回此	計算要素に割り当てることで、面積が集計されます					
水傾凶形	「自動求積図形」と「任意求積図形」が含まれます					
	自動求積図形	Archicad の要素の自動分割によって生成する求積図形です				
	任意求積図形 任意で作成する求積図形です					
	面積集計属性お	。 および求積図形を識別します				
記万·留万	記号タイプと番号	号タイプの組み合わせで構成されます				
土 建议 山 西 丰	本システムで作	成する要素です				
水惧ノール安系 	平面図の「求積表」及びワークシートの「各求積表」と「求積図形」が含まれます					





### 2-4 計算パターンについて

- 本システムでは、計算パターンによって面積を集計し、計算パターンを求積表として出力します。
- 計算パターンは面積集計属性によって、ツリー形式に構成されます。
- 階層が上の面積集計属性は、階層が下の面積集計属性または面積集計要素の面積を集計します。



### 2-5 記号・番号について

○ 本システムでは、各面積集計属性や各面積集計要素を「記号・番号」によって区別しています。

○「記号・番号」は、「記号タイプ」と「番号タイプ」の組み合わせです。

記号タイプ	番号タイプ	組み合わせ例
0	1,2,3	
	A,B,C	Α
$\diamond$	a,b,c	â
Ø	ア,イ,ウ	$\bigcirc$
	1,口,八	1
<b>♦</b>	あ,い,う	Ś
無	い,ろ,は	い
	І,Ш,Ш	Ι

### 2-6 求積ツール要素の編集について

- 本システムでは、様々な目に見えない求積ツール要素の関連付けを Archicad 内で行っています。
- 関連付けの整合を保持するため、求積ツール要素を編集する場合はメインパレットを開いて操作します。
- 求積図形の削除は、自動分割区画パレットの「自動分割区画解除」コマンド、または求積図形作成パレットの 「計算式と図形の削除」コマンドで行います。
- メインパレットを開いた状態で求積図形をコピー&ペーストした場合、求積図形リストに追加されます。
- コピー&ペーストした求積図形の面積の割り当ては解除されます。
- メインパレットを閉じた状態で求積図形をコピー&ペーストした場合、記号・番号が重複します。

### 2-7 レイヤーについて

- 平面図での求積ツール要素の書き込みレイヤーは計算パターン毎に設定します。
- 設定した書き込みレイヤーは後から変更できません。
- デフォルトの「建物」計算パターンの書き込みレイヤーは「求積ツール」レイヤーで固定です。
- 本システムの起動時及び求積ツール要素の作成時には書き込みレイヤーを表示します。
- Light 版では、集計対象となる求積図形のレイヤーは、「求積ツール」レイヤーで固定です。

# 3 メインパレット

# 3-1 メインパレットについて



番号	項目名	内容	Light
1	集計対象階の設定	計算対象階を設定します	0
2	フロア計算内容のコピ ーペースト設定	フロアの求積図及び計算パターンをコピーします	×
3	出力の設定	各階求積図・求積表、フロア別求積表を出力します	0
4	環境設定	環境設定を行います	$\triangle$
5	計算パターンの追加	環境設定の計算パターンをプルダウンメニューに追加します	×
6	計算パターンの複写	現在の計算パターンをプルダウンメニューに複写します	×
$\overline{\mathcal{O}}$	計算パターンの削除	現在の計算パターンをプルダウンメニューから削除します	×
8	計算パターン選択	計算パターンを選択します	×
9	端数処理パターン選択	端数処理を選択します	×
10	自動分割区画	「自動分割区画」パレットに切り替えます	0
(11)	求積図形作成	「求積図形作成」パレットに切り替えます	$\bigcirc$
(12)	面積表作成·編集	「面積表作成・編集」のパレットに切り替えます	0
13	編集階表示	現在のフロアの名前を表示します	0

- 3-1-1 集計対象階を設定する
- 面積集計の対象とするフロアを設定します。
- 計算パターン毎に設定が可能です。
- デフォルトは全フロアが集計対象です。
- ・「集計対象階の設定」ダイアログ



番号	項目名	内容
① 今計質パターンで世通		チェック入れると、全計算パターンで共通の設定となります
Û	王可昇ハウニン(共通	チェック外すと、選択中の計算パターンに対しての設定となります
2	チェック欄	集計対象のフロアにチェックを入れます
3	名前	フロアの名前を表示します

- 1) 「集計対象階の設定」を選択します。
- 2) 「集計対象階の設定」ダイアログが開きます。
- 3) 集計対象とするフロアにチェックを入れます。
- 4) 「OK」を選択します。

- 3-1-2 現在のフロアの計算内容の他のフロアにコピーする
- 現在のフロアの求積図形及び計算パターンへの割り当てを、別のフロアに一括コピーします。
- コピー後の各フロアでの求積図形・計算対象設定の修正内容は、当該フロアのみに反映されます。
- コピー先のフロアに求積図形が存在する場合は、コピー元の求積図形に置き換えます。
- ・「フロア計算内容のコピーペースト設定」ダイアログ



番号	項目名	内容
1	コピー元選択	コピー元のフロアを選択します
2	コピー先チェック欄	コピー先のフロアにチェックを入れます
3	名前	フロアの名前を表示します

- 1) 「フロア計算内容のコピーペースト設定」を選択します。
- フロア計算内容のコピーペースト設定」ダイアログが開きます。
   ※コピー先に現在のフロアは表示しません。
- 3) コピー元フロアを選択します。
- 4) コピー先フロアにチェックを入れます。
- 5) 「OK」を選択します。

#### 3-1-3 計算パターンを追加する

○ 環境設定で追加した計算パターンを現在のプロジェクトファイルに追加します。

・「計算パターン項目の追加」ダイアログ



番号	項目名	内容
1	計算パターン選択	追加する計算パターンを選択します
0	レイヤー遅切	平面図で求積図を書き込むレイヤーを選択します
2	レイド・送扒	※ワークシートへの書き込みレイヤーは環境設定で設定します

[操作手順]

- 1) 「計算パターンの追加」を選択します。
- 2) 「計算パターン項目の追加」ダイアログが開きます。
- 3) 追加する計算パターンを選択します。
- 4) 書き込みレイヤーを選択します。
- 5) 「OK」を選択します。

#### 3-1-4 計算パターンを複写する

○ 選択中の計算パターンをプルダウンメニューに複写します。

- 1) 複写する計算パターンを選択します。
- 2) 「計算パターンの複写」を選択します。

#### 3-1-5 計算パターンを削除する

○ 選択中の計算パターンをプルダウンメニューから削除します。

[操作手順]

- 1) 削除する計算パターンを選択します。
- 2) 確認ダイアログが開きます。

∧ 求積ツ-	h	×
	現在選択されている計算パターン	を削除します。
	よろしいですか?	

3) 「はい」を選択します。

3-1-6 計算パターンを選択する

○ 複数の計算パターンがプルダウンメニューに登録されている場合に、計算パターンを選択します。

- 計算パターンの内容を変更した場合は、計算パターン名の先頭に「\*」印が付きます。
- 3-1-7 端数処理パターンを選択する
- 複数の端数処理パターンが登録されている場合に、端数処理パターンを選択します。
- 端数処理パターンは「環境設定/端数処理」で設定します。

# 4 自動分割区画

## 4-1 はじめに

○ Archicad の要素を基に求積図形を自動的に生成します。

○ 自動分割区画を自動生成できる Archicad の要素は以下の4種類です。



#### 4-1-1 自動分割区画パレットについて

○ 自動分割区画パレットは「編集コマンド」と「自動求積区画リスト」で構成されます。

			編	集	⊐	マ	ン	۲
求積ツール 自動分割	削区画			×				
		Ð						
リ゙ーン名	記号	番号	変更					
Z1(居室)	0	1,2,3	無					
Z2(収納)	0	1,2,3	無					
Z3(便所)	0	1,2,3	無					
Z4(洗面脱衣室)	0	1,2,3	無					
Z5(浴室)	0	1,2,3	無					
Z6(廊下・キッチン)	0	1,2,3	無					
Z1(居室)	0	1,2,3	無					
Z2(収納)	0	1,2,3	無					
Z3(便所)	0	1,2,3	無					
Z4(洗面脱衣室)	0	1,2,3	無					
4				• Þ	)			
			白」	動 分	、割	反画	IJZ	<
					84			

# 4-2 編集コマンド



番号	項目名	内容	Light
1)	メインパレットに戻る	メインパレットに戻ります	0
2	自動分割	自動分割区画を作成し、自動求積図形を自動生成します	0
3	自動分割区画解除	自動分割区画を解除します	0
4	更新チェック	自動分割区画の元ゾーンの変更の有無をチェックします	0
5	再作成	自動分割区画の元要素に変更がある場合に、自動分割区画を更新 します	0

#### 4-2-1 自動分割区画を自動生成する

○ 自動分割区画を自動生成し、自動求積図形を作成します。

・「自動分割区画生成」ダイアログ

	▲ 自動分割区画生成 ? ×
1	○ 全て三角形分解
2	○矩形横型
3	○矩形縦型
4	◎ 図形内分解
	◎ 構型 🛛 縦型
	🗸 回転を考慮
5	<ul> <li>○ 穴に求積区画を作成</li> <li>○ √ 1,2,3 √</li> </ul>
	⑧開始番号: 1 (1)
	<b>キャンセル</b> OK

番号	項目名	内容	Light
1	全て三角形分解	全て三角形で自動分割区画を生成します	0
2	矩形横型	横方向に連続する矩形を優先して自動分割区画を生成します	0
3	矩形縦型	縦向に連続する矩形を優先して自動分割区画を生成します	×

番号	項目名		内容					
		不整形な要素に対して自動分割区画を生成します						
		横型	横方向に連続する矩形を優先して自動分割区画を 生成します					
			不整形部分はそれぞれの形状単位で目動分割区画 を生成します					
4	図形内分解		縦方向に連続する矩形を優先して自動分割区画を 生成します	×				
		<i></i> 縦望	不整形部分はそれぞれの形状単位で自動分割区画 を生成します					
		回転を考慮	Archicad の座標軸(X,Y)とは異なる要素の場合に、 要素の軸を基準に縦横の自動分割区画を生成しま す					
5	穴に求積区画を作成	要素に穴があ	5る場合に、マイナスの求積図形を作成します	×				
6	記号	自動分割区面	国作成時の記号を選択します	0				
$\overline{7}$	番号	自動分割区面	国作成時の番号を選択します	0				
8	開始番号	自動分割区面	画作成時の開始番号を設定します	0				

- 1) 自動分割区画を行う要素を選択します。
- 2) 「自動分割」を選択します。
- 3) 「自動分割区画生成」ダイアログが開きます。
- 4) 自動分割区画自動生成の種類を選択します。
- 5) 「記号タイプ選択」プルダウンメニューより、記号タイプを選択します。
- 6) 「番号タイプ選択」プルダウンメニューより、記号タイプを選択します。
- 7) 「開始番号設定」で開始番号を設定します。
- 8) 「OK」を選択します。



4-2-1-1 自動分割区画自動生成の種類について



4-2-2 自動分割区画を解除する

- 自動分割区画を解除します。
- 自動求積図形の削除が可能です。

[操作手順]

- 1) 自動分割区画を解除する自動分割区画を平面図または自動分割区画リストより選択します。
- 2) 「自動作成情報の解除」ダイアログが開きます。

✓ 自動作成情報の解除	?	×				
自動作成情報を解除します。 よろしいですか?						
✓ 対応する求積区画を削除する						
しいいえ	(;	tu				

- 3) 自動求積図形を削除する場合は、「対応する求積区画を削除する」にチェックを入れます。
- 4) 「はい」を選択します。

4-2-3 自動分割区画の元ゾーンの更新をチェックする

- 自動分割区画の元ゾーンの更新の有無をチェックします。
- 更新のチェックが必要なゾーンは、図形作成法が「内側」または「基準線」のゾーンです。
- 図形作成法が「手動」のゾーン、スラブ、塗りつぶし及びポリラインは自動で更新のチェックが行われます。

[操作手順]

- 1) 元ゾーンの更新の有無をチェックする自動分割区画を平面図または自動分割区画リストより選択します。
- 2) 「更新チェック」を選択します。
- 3) 自動分割区画の元ゾーンに更新がある場合、自動分割区画リストの「変更」欄に「有」と表示されます。

#### 4-2-4 自動分割区画を更新する

○ 自動分割区画の元の要素に変更がある場合に、自動分割区画を更新します。

求積ツ−ル 自動分割区画							
		٢					
ゾーン名	記号	番号	変更				
Z1(居室)	0	1,2,3	有				
Z2(収納)	0	1,2,3	無				
Z3(便所)	0	1,2,3	無				

- 1) 更新する自動分割区画を平面図または自動分割区画リストより選択します。
- 2) 「再作成」を選択します。

## 4-3 自動分割区画リスト

○ 自動分割区画をリスト表示します。

○リストと平面図の選択がリンクします。

1	2	3	4	
ゾーン名	記号	番号	変更	
Z1(居室)	0	1,2,3	無	
Z2(収納)	0	1,2,3	無	
Z3(便所)	0	1,2,3	無	
Z4(洗面脱衣室)	0	1,2,3	無	
Z5(浴室)	0	1,2,3	無	
Z6(廊下・キッチン)	0	1,2,3	無	
Z1(居室)	0	1,2,3	無	
Z2(収納)	0	1,2,3	無	
Z3(便所)	0	1,2,3	無	
Z4(洗面脱衣室)	0	1,2,3	無	
4				 .:

番号	項目名	内容	Light
1	ゾーン名	自動求積図形の元の要素の要素 ID を表示します ゾーンの場合はゾーン名を表示し、ゾーンカテゴリの色を反映します	0
2	記号	自動分割区画の記号タイプを表示します	0
3	番号	自動分割区画の番号タイプを表示します	0
4	変更	自動分割区画の元の要素の変更の有無を表示します	0

#### 

# 5 求積図形作成

## 5-1 はじめに

○ 任意形状の求積図形を作成します。

○ 自動求積図形及び任意求積図形の計算式の確認や端数処理を設定します。

#### 5-1-1 求積図形作成パレットについて

○ 求積図形作成パレットは「編集コマンド」と「求積図形リスト」で構成されます。

求積	ソール 求積四	図形作成				×
<b>a</b>		I,2,3	△○○〈	<ul> <li>         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>		
記号	番号	記号番	詞 計算式		改行	
0	1,2,3	01	4.000×1.600	6.40000000 デフォルト 6.400000 Z1(居室)	自動	
0	1,2,3	02	3.100×1.600	4.96000000 デフォルト 4.960000 Z1(居室)	自動	
0	1,2,3	03	0.900×1.600	1.44000000 デフォルト 1.440000 Z2(収納)	自動	
0	1,2,3	04	$1.000 \times 1.600$	1.60000000 デフォルト 1.600000 Z3(便所)	自動	
0	1,2,3	05	$1.000 \times 1.600$	1.60000000 デフォルト 1.600000 Z4(洗面脱衣室)	自動	
0	1,2,3	06	$1.800 \times 1.600$	2.88000000 デフォルト 2.880000 Z5(浴室)	自動	
0	1,2,3	07	3.800×1.600	6.08000000 デフォルト 6.080000 Z6(廊下・キッチン)	自動	
	1.2.3	∩8	3.100×1.600	4.96000000 デフォルト 4.960000 71(居室)	白動	Þ

### 5-2 編集コマンド

○ 任意求積図形の作成や、各種設定を行います。

$\bigcirc$	2	3	4	5	6	$\bigcirc$	8	9	10	1	12	(13)	14				
۵.	$\bigtriangleup$	$\boxtimes$		$\square$	0	0	$\bigcirc$	0	Q	Ċ			⊠₹				
0		1,2	2,3	~	開始	番号	: 1		(1)		端数处	理テ	フォルト	:第7	位切り打	舎て第6	位
(15	5		(16)					(17)				(1	8				

番号	- 項目名		内容				
1	メインパレットに戻る		メインパレットに戻ります				
2	K	三角形	3点指定により、三角形の任意求積図形を作成します	0			
3	仕	矩形	2点指定により、矩形の任意求積図形を作成します	0			
4	息	斜め矩形	3点指定により、斜め矩形の任意求積図形を作成します	0			
5	水	台形	3点指定により、台形の任意求積図形を作成します	0			
6	傾	正円	2 点指定により、正円の任意求積図形を作成します	0			
$\bigcirc$	- 凶		3点指定により、楕円の任意求積図形を作成します	0			
8	作	扇形	3点指定により、扇型の任意求積図形を作成します	0			
9	市	弓型(3 点)	孤の3点指定により、弓型の任意求積図形を作成します	0			
10	1-12	弓型(中心)	中心を含む3点指定により、弓型任意求積図形を作成します	0			
(1)	底ì	四回転	三角形及び台形の求積図形の高さの基準辺を切り替えます	0			
12	改行	亍編集	求積図形求積表における、計算式の改行を設定します	0			
(13)	リナ	ンバリング	表示中の求積図形の記号・番号をリナンバリングします	×			
14	計算	算式と図形の削除	選択した求積図形を削除します	0			
(15)	記号タイプ選択		任意求積図形作成時の記号タイプを選択します	0			
(16)	番号タイプ選択		任意求積図形作成時の番号タイプを選択します	0			
(17)	開如	台番号設定	任意求積図形作成時の開始番号を設定します	0			
(18)	端数	效処理表示	選択中の端数処理パターンによる求積図形の端数処理を表示します				

#### 5-2-1 任意求積図形を作成する

- 1) 「記号タイプ選択」プルダウンメニューより、記号タイプを選択します。
- 2) 「番号タイプ選択」プルダウンメニューより、記号タイプを選択します。
- 3) 「開始番号設定」で開始番号を設定します。
- 4) 「任意求積図形作成」選択します。
- 5) 選択した「任意求積図形作成」の指定点順序に従い、任意求積図形を作成します。
  ※選択した「任意求積図形作成」は連続で作成できます。
  ※操作を終了する場合は、右クリックメニューの「キャンセル」を選択するか「Esc キー」を選択します。

5-2-2 任意求積図形作成の指定点順序

図形種別	指定点順序	図形種別	指定点順序
三角形	1 2	矩形	1
斜め矩形	3	台形	4 1 2
正円	2	楕円	
扇型	3 2	弓型(3 点)	1 2
弓型(中心)	3 2		

## 5-3 求積図形リスト

○ 自動求積図形及び任意求積図形をリスト表示します。

○ 記号・番号や計算式、面積の確認、端数処理の設定をします。

(1)	2	3	(4)	5	6	$\bigcirc$	8	9
記号	番号	記号番号	計算式	面積	端数処理	端数処理後面積	自動区画	改行
0	1,2,3	01	4.000×1.600	6.40000000	デフォルト	6.400000	Z1(居室)	自動
0	1,2,3	02	3.100×1.600	4.96000000	デフォルト	4.960000	Z1(居室)	自動
0	1,2,3	03	0.900×1.600	1.44000000	デフォルト	1.440000	Z2(収納)	自動
0	1,2,3	04	1.000×1.600	1.60000000	デフォルト	1.600000	Z3(便所)	自動
0	1,2,3	05	1.000×1.600	1.60000000	デフォルト	1.600000	Z4(洗面脱衣室)	自動
0	1,2,3	06	1.800×1.600	2.88000000	デフォルト	2.880000	Z5(浴室)	自動
0	1,2,3	07	3.800×1.600	6.08000000	デフォルト	6.080000	Z6(廊下・キッチン)	自動

番号	項目名	内容	Light	
1	記号	求積図形の記号タイプを選択します	0	
2	番号	求積図形の番号タイプを選択します	$\bigcirc$	
3	記号番号	求積図形の記号・番号を表示します	0	
4	計算式	求積図形の面積計算式を表示します	0	
5	面積	求積図形の計算式による、端数処理前の面積を表示します	0	
6	端数処理 求積図形の端数処理を選択します		$\bigcirc$	
7	<b>进粉加</b> 理公 <b>声</b> 拜	求積図形の端数処理後の面積を表示します		
	师毅处理按面積	端数処理がデフォルトと異なる場合、面積の先頭に「*」を表示します	$\cup$	
8	白動区画	自動求積図形の場合、元の要素の要素 ID を表示します	0	
	日期区回	任意求積図形の場合、空欄となります		
9		計算式の改行設定を選択します	~	
	ΨX1J	※Light 版は「手動」で固定です	^	
#### 5-3-1 求積図形の順序を変更する

- 求積図形リストで求積図形をドラッグで移動することで、求積図形の順序を変更します。
- 順序変更後の番号は「環境設定/モード設定/図形番号編集のモード選択」で選択したモードによって異なります。

[操作手順]

- 求積図形リストより、順序を変更する求積図形を選択します。
   ※複数選択が可能です。
- 2) 求積図形リスト内で、選択した求積図形を変更する場所にドラッグします。
- 5-3-2 求積図形の番号をリナンバリングする
- 選択した求積図形のリナンバリングを行います。
- 番号を重複してリナンバリングすることはできません。

- 求積図形リストより、リナンバリングする求積図形を選択します。

   ※複数選択が可能です。通し番号でリナンバリングする場合、複数選択をします。
- 2) 「リナンバリング」を選択します。
- 3) 「リナンバリング」ダイアログが開きます。

🔼 リナンバリ	ングの設定	?	×
開始番号	1 (1)		
	4976N	(	ок

- 4) リナンバリングの開始番号を設定します。
- 5)「OK」を選択します。※番号が重複する場合、エラーダイアログが開きます。

# 6 面積表作成·編集

# 6-1 はじめに

- 計算パターンに自動分割区画または求積図形を割り当てます。
- 計算パターンの編集ができます。

#### 6-1-1 面積表作成・編集パレットについて

○ 面積表作成・編集パレットは「編集コマンド」、「計算パターンリスト」、「リスト切り替え」及び「各種リスト」で構成 されます。

積ツ−ル 面積表 <mark>作成・編集</mark> 							
▶							
🛅 施工面積[0.00/0.00] 無VII	ゾーン名	ሦ <sup>™</sup> −ኦ <u></u> カテゴ	'U レイヤ-		計算式 書	当先	
✔ 🗋 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	Z1(居室)	住宅	ゾーン				
✔ 🛅 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	Z2(収納)	住宅-2	ゾーン				
✓ □ 専有[0.00/0.00] 無I	Z3(便所)	住宅-6	ゾーン				
[5] 居室[0.00/0.00] □1	Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン				
[≌] 非居至[0.00/0.00] □2	Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン				
(当)収納[0.00/0.00] □3	Z6(廊下・キッチン)	住宅-1	ゾーン				
◇ □ 谷槓対象//延/回槓対象[0.00/0.00] 無V	Z1(居室)	住宅	ゾーン				
でし、パルコニー[0.00/0.00] 皿4	Z2(収納)	住宅-2	ゾーン				
✓ □ 共用廊下等[0.00/0.00] 無IV	Z3(便所)	住宅-6	ゾーン				
当 共用廊下[0.00/0.00] □5	Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン				
[1] 共用階段[0.00/0.00] □6	Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン				
	Z6(廊下・キッチン)	住宅-1	ゾーン				
	Z1(居室)	住宅	ゾーン				
	Z2(収納)	住宅-2	ゾーン				
	4						-

### 6-2 計算パターンリスト

○計算パターンの表示及び編集をします。



6-2-1 計算パターンリストの見方

6-2-1-1 面積集計属性について

○面積集計属性は「面積集計属性アイコン」+「面積集計属性の名前」+「集計面積」で表示されます。



**6-2-1-2** 面積集計属性アイコンについて ○面積集計属性の種類をアイコンで表示します。

表示項目	アイコン	概要
小計フォルダ		小計フォルダです
		集計面積タイプが「求積図形」の計算要素です
1. 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	শ্র	集計面積タイプが「自動分割区画」の計算要素です
引 昇 安 糸	ELD	集計面積タイプが「自動分割区画+求積図形」の計算要素です
	123	集計面積タイプが「任意入力」の計算要素です

6-2-1-3 集計面積表示について

○面積集計属性の集計面積を名前の後に表示します。

○「[選択中のフロアでの集計面積/全フロアでの集計面積]」を表示します。



# 6-3 編集コマンド



・計算要素を選択した場合



番号	項目名	内容	Light
1	メインパレットに戻る	メインパレットに戻ります	0
2	面積集計属性追加	面積集計属性を追加します	0
3	小計フォルダ複製	選択した小計フォルダを複製します	0
4	面積集計属性削除	選択した面積集計属性を削除します	0
5	面積集計属性編集	選択した面積集計属性の名前や端数処理を編集します	0
6	面積集計属性を元に 戻す	面積集計属性の各種操作を元に戻します	×
$\overline{O}$	改行編集	選択した面積集計属性の計算式の改行を編集します	0
8	表示項目編集	計算パターンリストの表示項目を編集します	×

6-3-1 面積集計属性を追加する

・「計算パターン項目の追加」ダイアログ

▲ 計算パターン項目	の追加	? ×
① <sub>タイプ</sub> 〇計算要素	② 端数処理 建物全体面積集計:未定義	✓ 小数点第0位 ✓
○小計フォルダ	用途別面積集計: 未定義	✓ 小数点第0位 ✓
③ 要素名·小計名:		
		<b>キャンセル</b> OK

番号	項目名		内容		
1	タイプ	追加する面積集計属性のタイプを選択します			
<ol> <li>二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、</li></ol>		追加する面積集計属性の端数処理及び端数表示桁数を選択しま		0	
		建物全体面積集計	建物求積表に反映されます	0	
		用途別面積集計	フロア別求積表に反映されます	0	
3	要素名·小計名	面積集計属性の名前	を設定します	0	

[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、小計フォルダを選択します。
- 2) 「面積集計属性追加」を選択します。
- 3) 「計算パターン項目の追加」ダイアログが開きます。
- 4) 「タイプ」を選択します。
- 5) 「端数処理」を選択します。
- 6) 「要素名・小計名」を設定します。
- 7) 「OK」を選択します。
- 8) 選択した小計フォルダの下層に面積集計属性が追加されます。

6-3-2 小計フォルダを複製する

○ 選択した小計フォルダを同一階層に複製します。

○ 選択した小計フォルダの下層の面積集計属性を含めて複製します。

- 1) 計算パターンリストより、複製する小計フォルダを選択します。
- 2) 「小計フォルダ複製」を選択します。
- 3) 選択した小計フォルダと同一の階層に小計フォルダが複製されます。

- 6-3-3 面積集計属性を削除する
- 選択した面積集計属性を削除します。
- 最上層の小計フォルダは削除できません。

[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、削除する面積集計属性を選択します。
- 2) 「面積集計属性削除」を選択します。
- 3) 確認ダイアログが開きます。

・ 水植ツー	ν.	
	選択された 1 個の項目を削除	t,≢đ.
	よろしいですか?	.04.70
	よろしいですか?	

- 4) 「はい」を選択します。
- 6-3-4 小計フォルダを編集する
- ・「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログ

∧ 計算要素/小計フォルダの編集	? ×
① パターン名:建物	● 求積ツール 🔹 🕨
② 要素名·小計名: 施工面積	
③端数処理	
建物全体面積集計:切り上げ > 小数点第	፤2位 ∨
用途別面積集計:切り上げ > 小数点第	2位 ~
+	estell OK

Х

番号	項目名	内容		
	パターンタ	計算パターンの名前を設定します		~
(])	ハターン名	最上層の小計フォル	ダを選択した場合のみ有効です	^
2	要素名·小計名	選択した小計フォルタ	ずの名前を設定します	0
		選択した小計フォルタ	の端数処理及び端数表示桁数を選択します	
3	端数処理	建物全体面積集計	建物求積表に反映されます	0
		用途別面積集計	フロア別求積表に反映されます	

- 1) 計算パターンリストより、編集する小計フォルダを選択します。
- 2) 「面積集計属性編集」を選択します。
- 3) 「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログが開きます。
- 4) 各種設定をします。
- 5) 「OK」を選択します。

6-3-5 計算要素を編集する

・「計算要素の編集」ダイアログ

∧ 計算要素の編集	?	×
パターン名:		
D 計算要素名: 居室		
②端数処理		
建物全体面積集計:切り上げ > 小数	数点第2位	~
用途別面積集計:切り上げ > 小数	数点第2位	~
③ 集計面積		
○求積図形		
○ 自動分割区画		
○ 自動分割区画+求積図形		
○任意入力		
計算式:		
面積: 0.000000		
+p>2h	ОК	

番号	項目名		内容	Light
$\bigcirc$	計算要素名	計算要素の名前を設	定します	$\bigcirc$
		選択した計算要素の端数処理及び端数表示桁数を選択します		
2	端数処理	建物全体面積集計	建物求積表に反映されます	$\bigcirc$
		用途別面積集計	フロア別求積表に反映されます	
		割り当て可能な面積	素計要素を選択します	
		フロア毎に設定が可能	もです	$\triangle$
		※Light 版は求積区画	画で固定です	
$\bigcirc$	生业工程	求積図形	求積図形のみ割り当てが可能です	$\bigcirc$
9	朱訂則傾	自動分割区画	自動分割区画のみ割り当てが可能です	×
		自動分割区画	自動分割区画及び求積図形の割り当てが可	$\sim$
		+求積図形	能です	^
		任意入力	計算式及び面積を任意設定します	×

- 1) 計算パターンリストより、編集する計算要素を選択します。
- 2) 「面積集計属性編集」を選択します。
- 3) 「計算要素の編集」ダイアログが開きます。
- 4) 各種設定をします。
- 5) 「OK」を選択します。

- 6-3-6 小計フォルダの計算式を改行する
- 小計フォルダの計算式の改行を編集します。
- 小計フォルダ求積表に反映されます。
- ※2以上の面積集計属性が含まれている場合に設定可能です。
- ※小計フォルダ求積表の種類が「計算式集計」の場合に設定可能です。
- ・「改行式と改行の編集」ダイアログ

	🔼 改行式と改行の	)編集		?	×
	<ul><li>①</li><li>● 自動改行</li></ul>	② ○手動改行	③ ○任意入力		
4	01+02+03				
	5 6				
					•
	+□2				
	4				Þ
			49/2N	OK	

番号	項目名	内容	Light
1	自動改行	求積表の列幅に合わせて自動で改行します	×
2	手動改行	計算式内の任意の位置で改行します	0
3	任意入力	計算式に任意の文字列を表示します	×
4	計算式プレビュー	計算式をプレビュー表示します	0
5	式	計算式の符号及び記号・番号を表示します	0
6	改行	手動改行を選択した場合に、改行する位置にチェックを入れます	0

- 1) 計算パターンリストより、改行を編集する小計フォルダを選択します。
- 2) 「改行編集」を選択します。
- 3) 「改行式と改行の編集」ダイアログが開きます。
- 4) 改行方法を選択します。
- 5) 必要に応じて設定を行います。
- 6) 「OK」を選択します。



**6-3-6-1**任意入力で記号・番号を使用する場合 ○指定の文字列を入力し、末尾に#記号を入力します。

指定文字列	システム表示	入力例
0	1重〇	○1#~○10#
	1重□	$\Box$ 1# $\sim$ $\Box$ 10#
$\diamond$	1 重◇	$\Diamond$ 1# $\sim$ $\Diamond$ 10#
Ø	2 重〇	◎1#~◎10#
	2 重口	<b>■</b> 1#~ <b>■</b> 10#
•	2 重◇	<b>◆</b> 1#~ <b>◆</b> 10#
無	記号無	無 1#~無 10#

6-3-7 計算要素の計算式を改行する

○ 計算の計算式の改行を編集します。

○ 計算要素求積表に反映されます。

※2以上の求積図形が割り当てられている場合に設定可能です。

※計算要素求積表の種類が「計算式集計」の場合に設定可能です。

・「改行の編集」ダイアログ

∧ 改行の編集			?	×
○自動改行	○手動改行			
01+02+03+0	04+05			
		5		
式		改行		
01				
+02				
+03				
+04				
4				Þ
		+7>2%	OK	

番号	項目名	内容	Light
1	自動改行	求積表の列幅に合わせて自動で改行します	×
2	手動改行	計算式内の任意の位置で改行します	0
3	計算式プレビュー	計算式をプレビュー表示します	0
4	式	計算式の符号及び記号・番号を表示します	0
5	改行	手動改行を選択した場合に、改行する位置にチェックを入れます	0

#### [操作手順]

- 1) 計算パターンリストで改行を編集する計算要素を選択します。
- 2) 「改行の編集」を選択します。
- 3) 「改行の編集」ダイアログが開きます。
- 4) 改行方法を選択します。
- 5) 必要に応じて設定を行います。
- 6) 「OK」を選択します。



改行編集前

改行編集後

6-3-8 計算パターンリストの表示項目を設定する

○ 計算パターンリストの表示項目を設定します。

・「計算パターン表示項目の設定」ダイアログ

	∧ 計算パターン表示項目の設定	?	×
1	✓ 現在階面積		
2	🗹 建物面積		
3	✓記号番号		
	+e>6h	0	ĸ
			<u> </u>

番号	項目名	内容	Light
1	現在階面積	チェックを入れると、選択中のフロアの面積を表示します	0
2	建物面積	チェックを入れると、全てのフロアの合計面積を表示します	0
3	記号番号	チェックを入れると、面積集計属性の記号・番号を表示します	0



### 6-4 リスト切り替え・各種リスト

○ 各種リストを切り替えます。

#### 6-4-1 自動分割区画リスト

○ 自動分割区画を計算要素に割り当てます。

○ Light 版では選択できません。

求積ツ−ル 面積表作成・編集	_				×
	凹 123 PH				
▶ 他工面積[0.00/0.00] 無VII	ゾーン名	<b>ツ</b> ゙ーンカテコ゛	ሀ レイヤー	計算式 割当先	
✓ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	Z1(居室)	住宅	ゾーン		
→ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	Z2(収納)	住宅-2	ゾーン		
~ 🗋 専有[0.00/0.00] 無I	Z3(便所)	住宅-6	ゾーン		
[≌] 居室[0.00/0.00] □1	Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン		
[≌] 非居室[0.00/0.00] □2	Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン		
[≌] 収納[0.00/0.00] □3	Z6(廊下・キッチン)	住宅-1	ゾーン		
◆ □ 容積対象外延べ面積対象[0.00/0.00] 無∨	Z1(居室)	住宅	ゾーン		
~ □ パルコニー[0.00/0.00] 無III	Z2(収納)	住宅-2	ゾーン		
	Z3(便所)	住宅-6	ゾーン		
◇ □ 共用廊下寺[0.00/0.00] 亜1∨	Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン		
[1] 共用膨은[0.00/0.00] □5	Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン		
	Z6(廊下・キッチン)	住宅-1	ゾーン		
	4				اء ♦

#### 6-4-2 計算要素リスト

○ 計算パターンリストの面積集計属性の詳細を表示します。

- 一部の設定は計算要素リストからの変更が可能です。
- 選択すると、「表示項目を編集します」がリスト切り替えに追加されます。

求積ツール 面積表作成・編集								×
	ß	00 0 1 II 123	OI					
✓ □ 施工面積[0.00/0.00] 無VII	記号	番号	符号	名前(階)	種類	集計面積	計算式	丸
✓ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI		1,2,3	+	居室	計算式集計	自動分割区画		t刀!
✓ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II		1,2,3	+	非居室	計算式集計	自動分割区画		t刀!
✔ 🛅 専有[0.00/0.00] 無I		1,2,3	+	収納	計算式集計	自動分割区画		t刀!
[≌] 居室[0.00/0.00] □1	無	I,II,III	+	専有	計算式集計			t刀!
[≌] 非居室[0.00/0.00] □2	無	I,II,III	+	容積対象面積	計算式集計			t刀!
[≌] 収納[0.00/0.00] □3		1,2,3	+	バルコニー	計算式集計	自動分割区画		t刀!
◇ □ 容積対象外延べ面積対象[0.00/0.00] 無∨	無	I,II,III	+	バルコニー	計算式集計			t刀!
		1,2,3	+	共用廊下	計算式集計	自動分割区画		t刀!
		1,2,3	+	共用階段	計算式集計	自動分割区画		t刀!
◇□ 共用郎下等[0.00/0.00] 無1∨	無	I,II,III	+	共用廊下等	計算式集計			t刀!
[1] 共用感下[0.00/0.00] □5	無	I,II,III	+	容積対象外延べ面	計算式集計			t刀!
	無	I,II,III	+	延べ面積	計算式集計			t刀!
	-				-			-14

### 6-4-3 求積図形リスト

○ 求積図形を計算要素に割り当てます。

○ 選択すると、「端数処理デフォルト」が表示します。

○「端数処理デフォルト」は「環境設定/端数処理/図形 List」で設定します。

求積ツ−ル 面積表作成・編集							×
🕼 -, f -, y -, -, -, 🗟	肾 21 123	端数処理デフォル	ト:第3位	な切り捨て第	2位		
~ 🗋 施工面積[0.00/0.00] 無VII	求積図形	計算式	面積	端数処理	微処理後面	いしゅう ほう ほうしょう しんしょう しんしょ しんしょ	目当先
✓ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	01					Z1(居室)	
> ≧ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	02					Z1(居室)	
▶ 書有[0.00/0.00] 無I	03					Z2(収納)	
[≌] 居室[0.00/0.00] □1	04					Z3(便所)	
[凹] 非居室[0.00/0.00] □2	⊖5					4(洗面脱衣室)	
[≌] 収納[0.00/0.00] □3	⊖6					Z5(浴室)	
✓ □ 容積対象外延べ面積対象[0.00/0.00] 無∨	07					(廊下・キッチン)	
✓ □ /(ル⊐=-[0.00/0.00] #III	08					Z1(居室)	
	09					Z1(居室)	
◇□ 共用廊下等[0.00/0.00] 無1∨	○10					Z2(収納)	
[11] 共用郎下[0.00/0.00] 口5	011					Z3(便所)	
[注] 共用項权[0.00/0.00] □6	012					4(洗面脱衣室)	

# 6-5 自動分割区画リスト

$\bigcirc$	2	3	4	5	6
ゾーン名	Y*−>カテコ*リ	11P-	計算式	割当先	
Z1(居室)	住宅	ゾーン		居室	
Z2(収納)	住宅-2	ゾーン		収納	
Z3(便所)	住宅-6	ゾーン		非居室	
Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン		非居室	
Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン		非居室	
Z6(廊下・キッチン)	住宅-1	ゾーン		非居室	
Z1(居室)	住宅	ゾーン		居室	
Z2(収納)	住宅-2	ゾーン		収納	
Z3(便所)	住宅-6	ゾーン		非居室	

番号	項目名	内容					
1	ゾーン名	自動分割区画の	自動分割区画の元の要素の要素 ID を表示します				
2	ゾーンカテゴリ	自動分割区画の	自動分割区画の元の要素がゾーンの場合、ゾーンカテゴリを表示します				
3	レイヤー	自動分割区画の	自動分割区画の元の要素のレイヤーを表示します				
		自動分割区画の符号を選択します					
4	計算式	未定義	選択した計算要素の面積集計対象外です				
		+	加算を行います				
5	割当先	自動分割区画を割り当てた計算要素名を表示します					
6	割当先を編集	自動分割区画を	割り当てる計算要素を選択します	×			

### 6-5-1 自動分割区画を割り当てる

○ 集計面積が「自動分割区画」または「自動分割区画+求積図形」の計算要素に割り当てることができます。



6-5-1-1 計算式を選択して割り当てる

[操作手順]

1) 計算パターンリストより、自動分割区画を割り当てる計算要素を選択します。

1 <u>-</u>	11 123				
~ 🗋 施工面積[0.00/0.00] 無∨II	ゾーン名	Y*−ンカテコ*リ	1/1P-	計算式 割当先	
✔ 🛅 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	Z1(居室)	住宅	ゾーン		
→ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	Z2(収納)	住宅-2	ゾーン		
✔ 🗋 専有[0.00/0.00] 無I	Z3(便所)	住宅-6	ゾーン		
[≌] 居室[0.00/0.00] □1	Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン		
[≌] 非居室[0.00/0.00] □2	Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン		
[≌] 収納[0.00/0.00] □3	76(廊下・七ッチン)	住宅-1	N-5/		1

2) 割り当てを行う自動分割区画を選択します。

※複数選択が可能です。

🖦 🕒 Fa 🖳 🎝 🕒 📮 👼	日 0日 0 1日 123					
~ 🗋 施工面積[0.00/0.00] 無VII	ゾーン名	<b>ソ</b> <sup>*</sup> −ンカテコ <sup>*</sup> リ	1 b1P-		計算式 割当先	
✓ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	Z1(居室)	住宅	ゾーン	未定義	$\sim$	
→  □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	Z2(収納)	住宅-2	ゾーン			
▶ □ 専有[0.00/0.00] 無I	Z3(便所)	住宅-6	ゾーン			
[≌] 居室[0.00/0.00] □1	Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン			
[≌] 非居室[0.00/0.00] □2	Z5(浴室)	住宅-6	ソーン			
[≌] 収納[0.00/0.00] □3	76(廊下・土wチン)	住字-1	ゾーン			· · · ·

3) 「計算式」プルダウンメニューより「+」を選択します。

💩 🕞 Fa 🖳 🎝 Fa 📮 🗃	日 0日 0 1日 123		
▶ 他工面積[0.00/0.00] 無VII	ゾーン名	ソ*ーンカテコ*リ レイヤー	計算式 割当先
✓ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	Z1(居室)	住宅 ゾーン	未定義 🗸
✓ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	Z2(収納)	住宅-2 ゾーン	未定義
∨ 🗋 専有[0.00/0.00] 無I	Z3(便所)	住宅-6 ゾーン	
[≌] 居室[0.00/0.00] □1		住宅-6 ゾーン	
[≌] 非居室[0.00/0.00] □2	Z5(浴室)	住宅-6 ゾーン	
[≌] 収納[0.00/0.00] □3	76(廊下・土ぃチン)	住室-1 パーン	

4) 選択した計算要素で集計が行われ、「接続先」に割り当てた計算要素が表示されます。

~ 🗋 施工面積[12.80/12.80] 無VII	ゾーン名	Y <sup>*</sup> −ンカテコ <sup>*</sup> リ レイヤー	計算式 割当先	
✓ □ 延べ面積[12.80/12.80] 無VI	Z1(居室)	住宅 ゾーン	+居室	
→  □ 容積対象面積[12.80/12.80] 無II	Z2(収納)	住宅-2 ゾーン	+ 居室	
✔ 🗋 専有[12.80/12.80] 無I	Z3(便所)	住宅-6 ゾーン		
[≌] 居室[12.80/12.80] □1	Z4(洗面脱衣室)	住宅-6 ゾーン		
[≌] 非居至[0.00/0.00] □2	Z5(浴室)	住宅-6 ゾーン		
[≌] 収納[0.00/0.00] □3	76(廊下・七ッチン)	住宅_1 パーン		

6-5-1-2 計算要素を選択して割り当てる

[操作手順]

- 割り当てを行う自動分割区画を選択します。
   ※複数選択はできません。
- 2) 「割当先を編集」を選択します。

🏠 🕞 Fa 🖳 🎝 Fa 📮 🗃	四 00 00 1I 123					
~ 🗋 施工面積[0.00/0.00] 無∨II	ゾーン名	Y*−ンカテコ*リ	1/1P-		計算式 割当先	
✓ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	Z1(居室)	住宅	ゾーン	未定義	$\sim$	Ð.
✓ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	Z2(収納)	住宅-2	ゾーン			
∨ 🛅 専有[0.00/0.00] 無I	Z3(便所)	住宅-6	ゾーン			
[≌] 居室[0.00/0.00] □1	Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ソーン			
[≌] 非居室[0.00/0.00] □2	Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン			
[≌] 収納[0.00/0.00] □3	76(廊下・七ッチン)	住宅_1	N-5			

3) 「割当先を編集」ダイアログが開きます。

△ 割当先を編集		7	×
名前			
居至			
非居室			- 1
収納			
/0.az-			
共用面下			1.0
共用階段			
4			
	+r>tik		ж

4) 選択した自動分割区画を割り当てる計算要素にチェックを入れます。※複数の計算要素を選択できます。

6 <b>7</b>		ť	×.
v			
v			
0			
			. 10
	2+1/18	10	2
	v v 0		

- 5) 「OK」を選択します。
- 6) 選択した計算要素で集計が行われ、「接続先」に割り当てた計算要素が表示されます。

	□ 00 0 11 123				
✓ □ 施工面積[34.08/34.08] 無VII	ゾーン名	Y*−>カテコ*!	1 h1p-	計算式	割当先
✓ □ 延べ面積[34.08/34.08] 無VI	Z1(居室)	住宅	ゾーン	+ 、	居室,非居室,収; 🕨
◇ □ 容積対象面積[34.08/34.08] 無II	Z2(収納)	住宅-2	ゾーン		
✔ 🗋 専有[34.08/34.08] 無I	Z3(便所)	住宅-6	ゾーン		
[≌] 居室[11.36/11.36] □1	Z4(洗面脱衣室)	住宅-6	ゾーン		
[≌] 非居室[11.36/11.36] □2	Z5(浴室)	住宅-6	ゾーン		
[凹] 収納[11.36/11.36] □3	76(廊下・キッチン)	住宅-1	ゾーン		

6-5-1-3 ドラッグアンドドロップで割り当てる [操作手順]

割り当てを行う自動分割区画を選択します。
 ※複数選択が可能です。

	□ 01 0 11 123					
✓ □ 施工面積[0.00/0.00] 無VII	リ*->タ	▲ リ <sup>*</sup> – ンカテコ <sup>*</sup> IJ	W12-		計算式 割当先	
✓ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	Z1(居室)	住宅	ゾーン	未定義	$\sim$	
✓ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	Z1(居室)	住宅	ソーン			
✔ 🗋 専有[0.00/0.00] 無I	Z1(居室)	住宅	ソーン			
[≌] 居室[0.00/0.00] □1	、 Z1(居室)	住宅	ソーン			
[≌] 非居室[0.00/0.00] □2	Z2(収納)	住宅-2	ゾーン			
[≌] 収納[0.00/0.00] □3	72(収納)	住宅-2	ソーン			

2) 選択した自動分割区画を計算パターンリストにドラッグして、割り当てる計算要素の上でドロップします。

ドラッグアンドド	ロップ						
	肾沿	0 123					
✓ □ 施工面積[0.00/0.00] 無VII	11-12	_ y*_	ንክምግ° ሀ	1/d7-		計算式 割	当先
~ 🗋 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	Z1(居室)	住当	È	ゾーン	未定義	$\sim$	
→ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無	Z1(居室)	住日	2	ゾーン			
✓ □ 専有[0.00/0.00] 無I	Z1(居室)	住马	È	ソーン			
[≌] 居室[0.00/0.00] □1	、 Z1(居室)	住马	2	ゾーン			
[≌] 非居室[0.00/0.00] □2	Z2(収納)	住日	È-2	ゾーン			
[≌] 収納[0.00/0.00] □3	72(山又納)	住日	≩-2	ゾーン			1

3) 選択した計算要素で集計が行われ、「接続先」に割り当てた計算要素が表示されます。

	肾 11	0		
~ 🗋 施工面積[45.44/45.44] 無VII	ゾーン名	▲ ソ*ーンカテコ*リ レイヤー	計算式 割当先	
✔ 🛅 延べ面積[45.44/45.44] 無VI	Z1(居室)	住宅 ソーン	+ / 居室	
> □ 容積対象面積[45.44/45.44] 無II	Z1(居室)	住宅 ソーン	+ 居室	
✔ 🗋 専有[45.44/45.44] 無I	Z1(居室)	住宅 ゾーン	+ 居室	
[≌] 居室[45.44/45.44] □1	Z1(居室)	住宅 ソーン	+ 居室	
[≌] 非居室[0.00/0.00] □2	Z2(収納)	住宅-2 ゾーン		
[≌] 収納[0.00/0.00] □3	72(収納)	住宅-2 ゾーン		

# 6-6 計算要素リスト

(1)	2	3	4	5	6	$\bigcirc$	8	9	10	(1)	12	(13)	14)	(15)	(16)	(17)	(18)
記号	番号	11565	羽鸭	名約(制)	1815	RITER	計算式	九田站理(建地)	(九世相談(津昭)	"丸田裕理(高雨)	(九郎村歌(高帝)	政府	214	國際的理	MERITARY.	白計解表目	2
12 -	1.1.1	<b>C1</b>	+. ~	悠息	11	<b>间二滴</b> 、~		\$P\$1上げ	小数2位 ~~~	4的上げ -	小教術第2位	- 手数	0.00	77x61-	0.03 %	表示(…有) 、	
	1,2,3	02	+	11.90番	计算式算计	自動分析法の	1	170.1:1f	小型点量2位	如95上if	小数点第2位	12.80	0.00	テスオルト	0.00	春羊(記号有)	-
	1.2.3	0.9	+	1010	計算式施計	自動分析因為	1	\$00.E1F	小数内第2位	动力上计	小教演編》位	7.81	0.00	77851	0.00	表示(記号有)	1
单	1,11,111	<b>3</b> 41	+	资料	日期近期日	ga maran.		切为上17	小菜肉属炒拉	切为上计	小款点第2位	平数	0.00	<b>予786</b> 年	0.00	00012054102	

番号	項目名		内容	Light				
1)	記号	面積集計属性の記	号タイプを選択します	0				
2	番号	面積集計属性の番	号タイプを選択します	0				
3	記号番号	面積集計属性の記	号・番号を表示します	0				
4	符号	面積集計属性の符	号を選択します	0				
Ē	·       項目名         ·       記号         ·       部号         ·       記号番号         ·       名前(階)         ·       名前(階)         ·       名前(階)         ·       和類         ·       兼計面積         ·       非算式         ·       丸目処理(建物)         ·       丸目桁数(建物)         ·       丸目和型(各階)         ·       丸目和数(本階)         ·       丸目和型(各階)         ·       小目和数(本間)         ·       小目和数(本間)         ·       小目和数(本間)         ·       小目和数(本間)         ·       小目新歌(本間)         ·       小目和数(本間)         ·       小目新歌(本間)         ·       小目新歌(本間)         ·       小目新歌(本間)         ·       小目新歌(本間)         ·       小目新歌の理(本間)         ·       ·         ·       ·         ·       ·         ·       ·         ·       ·         ·       ·         ·       ·         ·       ·         ·       ·         ·       · </td <td>小計フォルダ求積ま</td> <td>長または計算要素求積表の名前を設定します</td> <td></td>	小計フォルダ求積ま	長または計算要素求積表の名前を設定します					
0	2日时(阳)	設定した名前は選択	R中のフロアでのみ有効です					
		小計フォルダ求積家	長または計算要素求積表の計算式表示の種類を選択					
ß	1.11年1月11日	します						
0	性积	計算式集計	計算式に記号・番号を表示します					
		一覧表集計	計算式に記号・番号毎の計算式を表示します					
		計算要素の集計面	積のタイプを選択します					
		求積区画	求積図形のみ割り当てが可能です					
$\bigcirc$	集計面積	自動分割区画	自動分割区画のみ割り当てが可能です	×				
		自動+求積	自動分割区画及び求積図形の割り当てが可能です					
		手動入力	計算式及び面積を任意設定します					
8	計算式	計算要素の計算式	を表示します	0				
		建物求積表の端数処理を選択します						
(9)	九日処埋(建物)	※「未定義」及び「ラ	デフォルト」は選択できません	0				
10	丸目桁数(建物)	建物求積表の端数	表示桁数を選択します	0				
		小計フォルダ求積表	長または計算要素求積表の端数処理を選択します					
Ű	九日処埋(谷階)	※「未定義」及び「ラ	デフォルト」は選択できません	0				
	十日长半(夕时)	小計フォルダ求積素	表または計算要素求積表の端数表示桁数を選択しま					
(12)	九日竹剱(谷階)	す		0				
		計算式の改行方法	を選択します					
19	コム 2二	自動	求積表の列幅に合わせて自動で改行します					
(13)	ĽX1J	工利	計算式内の任意の位置で改行します					
		于到	改行位置は「改行の編集」で設定します					
14	面積	面積集計属性の計	算式における面積を表示します	0				
	去出 米ケ hn 工田	面積集計属性の端	数処理を選択します					
(15)	端剱処理	※「未定義」は選択できません						
	把粉加田公子律	面積集計属性小計	フォルダ求積表または計算要素求積表の合計欄にお					
(16)	师剱処理仮囬傾	ける端数処理後の正	面積を表示します	0				
	チェックを入れると、小計フォルダ求積表または計算要素求積表に合計							
U)	百百佩衣不	欄を表示します						
(10)		小計フォルダ求積素	表または計算要素求積表及び割り当てた求積図形の					
10	巴	ペン番号を選択しま	<i>t</i>					

### 6-6-1 計算式表示の種類

○「計算式集計」と「一覧表集計」を選択できます。

·計算式集計

居室	R	
記号	計算式	面積
1	(1+2+3+9+0+0+0+2+2)	44.81
	合計	44.81

#### •一覧表集計

居室	2	
記号	計算式	面積
1	(3. 2388+2. 980) ×1. 3111÷2	4.07
2	(3.880+3.2388) × 0.2588÷2	0. 92
3	3.880×1.480	5.74
9	4.000×1.600	6.40
1	3. 100 × 1. 600	4.96
16	3. 100 × 1. 600	4.96
D	4.000×1.600	6.40
(23)	4.000×1.600	6.40
24	3.100×1.600	4.96
1	合計	44.81
	合計	44.81

### 6-6-2 色について

- ○小計フォルダ求積表または計算要素求積表及び割り当てた求積図形のペン番号を選択します。
- 求積図形は記号・番号での設定に関わらず、選択したペン番号で上書きします。
- 複数の計算要素に割り当てた求積図形は色を反映しません。
- 平面図及びワークシートに反映されます。

市積2-12 国際長作点・編集							×
	이미물	国理	8 1				
- 1 風工間積[134.46/12	94.46] 無VII	,具领理(各	凡酉标款(各	武行.	油款汽理	合計機表示 合	
* 白 延州書稿(114.46/)	34.46] 響V1	わ上げ	小数有重2位	用約	72111-	表示(記号有) 1	12
→□ 合領対象面接(の	1.84/90.84] <b>Ξ</b> Π	PDEH	小数点第2位	田崎	#286F	表示(記号有)]	1
√ □] 専有[99,84/99	.64) 篇[	わたげ	小数点篇2位	田助	728110	表示(記号有)	
(国)居御(45.44/-	85.44] 🗆 1	mitt	小数点第2位	自動	7246h		
即 耕應豐(48.6	V48.64] E12	POELT	小菜点第2位	口助	デスセルト		
[版] 取柄[5.76/5.	76] 🗆 3	PALIF	小数点第2位	用數	77811	表示(記号有)[]	e l
>□ 曹操对数外量不良	(構成的(34/62/34/62) 開い	DEH	小数点第2位	日助	72111		
□ K0432=[13.8	1/12.80] #011	10,215	()-数例第242	白鹤	97812	表示(記考考)	
(5) (0,33-112.80/12.80) □4 (5) 4,889 F \$\$\\$(21.82)(21.82) \$\$\\$(1)\$ (5) 4,889 F \$\$\\$(3.30)(15.36) [\$\$ (5) 5.30(15.36) [\$\$\$ (5) 5.30(15.36) [\$\$\$ (5) 5.30(15.36) [\$\$\$ (5) 5.30(15.36) [\$\$\$\$ (5) 5.30(15.36) [\$		19215	小数点第2位	白統	77HU2	表示(記号有)   800	
		POLIT	小裂点第2位	白助	77#111-		
		わたけ	小数余篇2位	田助	至246年		
OID ANADADATION A	diaredt mai	PDEH	小数点漏2位	日前	72mit		1





6-6-3 計算要素リストの表示項目を設定する

○ 計算要素リストの表示項目を設定します。

・「表示項目の設定」ダイアログ

∧ 表示項目の設	定		?	×
名前	4			
記号	v			
番号	v			
記号番号				
符号	v			
名前(階)	v			
種類	v			
集計面積	v			
計算式	v			
丸目処理(建物)	v			
丸目桁数(建物)	v			
丸目処理(各階)	v			
丸目桁数(各階)	V			
改行	V			
面積				
端数処理	v			
端数処理後面積				
合計欄表示	v			
色	v			-
4				•
		+7>211	0	

番号	項目名	内容	Light
1	名前	計算要素リストの項目の名前を表示します	0
2	チェック欄	チェックを入れると、計算要素リストに項目を表示します	0

- 1) 「表示項目を編集します」を選択します。
- 2) 「表示項目の設定」ダイアログが開きます。
- 3) 計算要素リストに表示する項目にチェックをいれます。
- 4) 「OK」を選択します。

# 6-7 求積図形リスト

$\bigcirc$	2	3	4	5	6	$\bigcirc$			
求積図形	計算式	面積	端数処理	端数処理後面積		自動 割当先			
01					Z1(	居室)			
02					Z1(	居室)			
03					Z1(,	居室)			
04					Z2(	収納)			
05					Z3(	便所)			
06			Z4(洗面脱衣室)						
07					Z5()	浴室)			

番号	項目名		内容					
1	求積図形	求積図形の記号・番号を表示します						
		求積図形の計算	「式を選択します					
0	1. 答子	未定義	選択した計算要素の面積集計対象外です	$\cap$				
2	計 <b>昇</b> 八 	「昇式 + 加算を行います		$\cup$				
		-	減算を行います					
3	面積	求積図形の端数						
4	端数処理	求積図形の端数	処理を選択します	0				
Ē	迎粉如理公司建	求積図形の端数	処理後の面積を表示します	$\bigcirc$				
0	师毅处理按面積	端数処理がデフォルトと異なる場合、面積の先頭に「*」を表示します						
6	自動	自動求積図形の	自動求積図形の場合に、元の要素の要素 ID を表示します					
$\overline{\mathcal{O}}$	割当先	求積図形を割り	当てた計算要素名を表示します	0				

### 6-7-1 求積図形を割り当てる

○ 集計面積が「求積図形」または「自動分割区画+求積図形」の計算要素に割り当てることができます。

求積図形

自動分割区画+求積図形 -

### 6-7-1-1 計算式を選択して割り当てる

[操作手順]

1) 計算パターンリストより、求積図形を割り当てる計算要素を選択します。

		端数処理デフ	オルト:第3位切り捨て第	2位		
~ □ 施工面積[0.00/0.00] 無VII	求積図形	計算式	面積 端数処理	擞処理後面積	自動 割	創当先
✓ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	01				Z1(居室)	
◇ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	02				Z1(居室)	
✓ □ 専有[0.00/0.00] 無I	03				Z2(収納)	- I
□ 居室[0.00/0.00] □1	04				Z3(便所)	
□ 非居室[0.00/0.00] □2	05			4(	(洗面脱衣室)	
□ 収納[0.00/0.00] □3	06			-	75(浴室)	_

割り当てを行う求積図形を選択します。
 ※複数選択が可能です。

♠ ┖ ┖ ╹ ╹ ┖	肾 <u>11</u>	0 端数処理デフォ	ルト:第3(	立切り捨て第	2位		
~ 亡 施工面積[0.00/0.00] 無VII	求積図形	計算式	面積	端数処理	擞処理後面積	自動 書	創当先
✔ 🗋 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	01 未知	定義 🗸 🗸				Z1(居室)	
→ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	02					Z1(居室)	
> ┣┓ 専有[0.00/0.00] 無I	03					Z2(収納)	
□ 居室[0.00/0.00] □1	04					Z3(便所)	
□ 非居室[0.00/0.00] □2	05				4	4(洗面脱衣室)	
□ 収納[0.00/0.00] □3	06					Z5(浴室)	

3) 「計算式」プルダウンメニューより「+」または「-」を選択します。

💩 🕞 F- <b>L</b> , <b>D</b> , <b>L</b> , 🗟	肾 01	□ 0 端数処理	デフォルト:第34	立切り捨て第	2位		
✓ □ 施工面積[0.00/0.00] 無VII	求積図形	計算式	面積	端数処理	擞処理後面積	自動	割当先
~ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	01	未定義 🗸 🗸				Z1(居室)	
→ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	02	未定義				Z1(居室)	
> □ 専有[0.00/0.00] 無I	03	-				Z2(収納)	
□ 居室[0.00/0.00] □1	04					Z3(便所)	
□ 非居室[0.00/0.00] □2	05					4(洗面脱衣室)	
□ 収納[0.00/0.00] □3	06					75(浴室)	

4) 選択した計算要素で集計が行われ、「割当先」に割り当てた計算要素が表示されます。

	딸 00 1I	0 123	端数処理テ	フォルト:第3	位切り捨て第	2位		
✓ □ 施工面積[12.80/12.80] 無VII	求積図形		計算式	面積	端数処理	擞処理後面積	自動	割当先
✓ □ 延べ面積[12.80/12.80] 無VI	01	+	$\sim$	6.400000	デフォルト 〜	6.40	Z1(居室)	居室
√ □ 容積対象面積[12.80/12.80] 無II	02			4.960000	デフォルト	4.96	Z1(居室)	居室
✓ □ 専有[12.80/12.80] 無I	03			1.440000	デフォルト	1.44	Z2(収納)	居室
□ 居室[12.80/12.80] □1	04						Z3(便所)	
□ 非居室[0.00/0.00] □2	05						4(洗面脱衣室)	
□ 収納[0.00/0.00] □3	06						Z5(浴室)	

# 6-7-1-2 ドラッグアンドドロップで割り当てる

[操作手順]

割り当てを行う求積図形を選択します。
 ※複数選択が可能です。

	肾 01 02 11 123	端数処理デフォル	ト:第3位切り捨て第	\$2位	
~ □ 施工面積[0.00/0.00] 無VII	求積図形	計算式	面積 端数処理	徵処理後面積	自動 割当先
~ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無VI	○1 未定義	$\sim$		Z1	l(居室)
✓ □ 容積対象面積[0.00/0.00] 無II	02			Z1	L(居室)
> ┣┓ 専有[0.00/0.00] 無I	03			Z	2(収納)
□ 居室[0.00/0.00] □1	04			Za	3(便所)
□ 非居室[0.00/0.00] □2	05			4(洗面)	脱衣室)
□ 収納[0.00/0.00] □3	06			Z5	5(浴室)

2) 選択した求積図形を計算パターンリストにドラッグして、割り当てる計算要素の上でドロップします。

▲ □ □ □ <u>ドラッグアンドドロッ</u>		端数処理デフォル	レト:第3イ	立切り捨て第	2位		
~ 🗋 施工面積[0.00/0.00] 無VII	求積図形	計算式	面積	端数処理	徵処理後面積	自動 割当先	
✓ □ 延べ面積[0.00/0.00] 無     ✓	○1 未定義	~				Z1(居室)	
◇ □ 容積対象面積[0.00/0.0] 無II	02					Z1(居室)	
✔ □ 專有[0.00/0.00] 無1	03					Z2(収納)	
□ 居室[0.00/0.00] □1	04					Z3(便所)	
□ 非居室[0.00/0.00] □2	05				4	(洗面脱衣室)	
□ 収納[0.00/0.00] □3	06					Z5(浴室)	_

3) 選択した計算要素で集計が行われ、「割当先」に割り当てた計算要素が表示されます。

	肾 ng ng	0 23	端数処理テ	デフォルト	、: 第34	立切り捨て第	2位		
✔ 🗋 施工面積[12.80/12.80] 無VII	求積図形		計算式		面積	端数処理	微処理後面積	自動	割当先
✔ 🗋 延べ面積[12.80/12.80] 無VI	01 +		$\sim$	6.4	00000	デフォルト 〜	6.40	Z1(居室)	居室
✔ 🛅 容積対象面積[12.80/12.80] 無II	02			4.9	50000	デフォルト	4.96	Z1(居室)	居室
✔ 🛅 専有[12.80/12.80] 無I	03			1.4	40000	デフォルト	1.44	Z2(収納)	居室
□ 居室[12.80/12.80] □1	04							Z3(便所)	
□ 非居室[0.00/0.00] □2	05							4(洗面脱衣室)	
□ 収納[0.00/0.00] □3	06							Z5(浴室)	

### 6-8 プランに変更がある場合

○ プランに変更がある場合、「自動求積区画」または「任意求積図形」のどちらかによって操作が異なります。

6-8-1 自動求積区画を更新する

○「自動求積区画」の更新は、元の要素及びゾーンの作成方法によって操作が異なります。

6-8-1-1 組み立て法が「内側」または「基準線」のゾーンの場合

○ 元の要素がゾーンで組み立て法が「内側」または「基準線」の場合、ゾーンの更新を行います。





・変更前の面積

		<b>学現フール 実績長行成・編集</b>						
1	$\ltimes$		國理品	an John Market			HART BUILD	
/4		> 益<置積[134.45/405.81] 量V1	23(編業)	佳味.	y=5	+	~ 62	
	212 0	→ <ご 吉積対象面積[99.84/299.52] 算Ⅱ	22(400)	18/81%	272	_	400	_
1/			(便附)	信宅-6	ターン		轩思逝	
AR.	屋室 4000	(□ [□] 层置[43,44/136.32] □1	(氏質脱衣室)	住宅布	4-2		詳細層	
1904		[A] Amagine on A Lawsel are	25(展着)	住宅-0	277		非描葉	
72021	1 11.36 m	[30] #099[5.76/17.28] □3	26(图下-キッチン)	住宅-1	9-5		林居室	
$\mathbb{Z}_{n-1}$		◆□ 冒険対象外超へ貫積対象[34.61/106.29] 至	21(想塑)	住宅	9-2		+ 想更	
1		↓ ~ [] //b32~[[2.00/38.40] #L11	22(初時)	佳宅-2	9-2		収続	
\P		[30] //ILGE-[12:80/38:40] E4	Z1(便所)	住宅-6	9-2		31层菜	
000	3100 900	M + # # 121.81/07.89] #1V	24(清算财资度)	住宅-6	2-5		計画室	
100	0100	(0) ####################################	25(活用)	住宅-6	9-2		建塑料	
M		[30] acceleratio(+3(51)01) To		10100-0			1100.00	

#### ・プラン変更内容



[操作手順]

1) 変更があるゾーンを選択します。



2) Archicad デザインメニューより、「ゾーンを更新」を選択します。

デザイン(ロ	) ドキュメント(C) オブ	「ション(0)
建築	ツール	
構造	エンジニアリングツール	•
≌⊟ 通り	芯設定	
■り ゾーン	vを更新( <u>P</u> )	
モデ	レチェック	•
≚ ಕಸ	↓比較	

- 3) 「ゾーンを更新」ダイアログが開きます。
- 4) 「選択したゾーンの更新」を選択します。



5) ゾーンが更新されます。



6) 「自動分割区画」パレットを開きます。

求積ツ−ル 自動分割	间区画			2	×
		Ð			
ゾーン名	記号	番号	変更		
Z1(居室)	0	1,2,3	無		
Z2(収納)	0	1,2,3	無		
Z3(便所)	0	1,2,3	無		
Z4(洗面脱衣室)	0	1,2,3	無		
Z5(浴室)	0	1,2,3	無		
Z6(廊下・キッチン)	0	1,2,3	無		
4					

7) 「更新チェック」を選択します。

求積ツ	<b>ール 自動</b> 分	割区面		×
۵.			20	

8) ゾーンの更新チェックが行われ、「変更」欄が「有」になります。

求積ツール 自動分割	区画			)	×
		¢			
ゾーン名	記号	番号	変更		
Z1(居室)	0	1,2,3	有		
Z2(収納)	0	1,2,3	黒		
Z3(便所)	0	1,2,3	無		
Z4(洗面脱衣室)	0	1,2,3	無		
Z5(浴室)	0	1,2,3	無		
Z6(廊下・キッチン)	0	1,2,3	有		
4				₽	

9) 変更のあるゾーンを選択します。



10)「再作成」を選択します。



11) 自動求積図形が更新され、「自動分割区画」パレットの「変更」欄が「無」になります。



12) 自動求積図形の更新にあわせて、面積が更新されます。



6-8-1-2 組み立て法が「手動」のゾーン、スラブ、塗りつぶし、またはポリラインの場合 ○ 元の要素が、組み立て法が「手動」のゾーン、スラブ、塗りつぶし、またはポリラインの場合、元の要素を変更 した段階で、更新チェックが行われます。

・元 Archicad 要素



#### ・変更前の面積



·変更内容

5.000

5.000



[操作手順]

- 1) 「自動分割区画」パレットを開きます。
- 2) 元の要素に変更がある自動分割区画の「変更」欄が「有」になっていることを確認します。



3) 変更のある要素を選択します。









求積ツール	自動分割	区画		>	×
		Z, Z <sub>C</sub>			
ッデーン名	記号	番号	変更		
Z1(和室)	0	1,2,3	有		٠
S1(スラブ)	0	1,2,3	有		
F1(塗りつぶ	0	1,2,3	有		
(ポリライン)	0	1,2,3	有		
					Ŧ
۹				₽	.:;

4) 「再作成」を選択します。



5) 自動求積図形が更新され、「自動分割区画」パレットの「変更」欄が「無」になります。









求積ツール	自動分割	区画			×
		<b>Z</b> , Z <sub>@</sub>			
ゾーン名	記号	番号	変更		
Z1(和室)	0	1,2,3	無		-
S1(スラブ)	0	1,2,3	無		
F1(塗りつふ	0	1,2,3	無		
(ポリライン)	0	1,2,3	無		
					w
				j.	) at

6) 自動求積図形の更新にあわせて、面積が更新されます。



6-8-2 任意求積図形を更新する

○「任意求積図形」の更新は、任意求積図形を直接編集します。

[操作手順]

1) 更新を行う任意求積図形を選択します。



- 2) 任意求積図形を編集します。
- 3) 任意求積図形の更新にあわせて、面積が更新されます。



#### 6-8-3 求積表及び求積図を更新する

○ 求積表及び求積図の更新は、表を出力することで行います。

○ レイアウトブックに「更新タイプ」が「手動」の図面を配置している場合は、配置図面の更新を行います。

#### ·変更前

_		7項7-1-業績長行成・編集	25111					ж
1			防理器					
X de la		> 施工器構[134.45/405.81] 個VII	下-1名	\$"-5853"	9.649-		計算式 割当先	
		> 這<置積[134.45/405.81] ∰VI	22(編集)	(14)	9-5	+	~ 58	
		<ul> <li>ご 吉積対象面積[99.84/299.52] 算II</li> </ul>	22(初納)	住宅心	1-2		(CM)	100
11		> ○ □ 書有100.84/200.521葉1	23(便所)	住宅-6	5-2		非思想	
16	· 4000	(又) 居童[45.44/136.32] □1	24(洗粪脱衣室)	住宅市	4-5		11日間 間	
UNAC	居至すびび	(3) \$FIERE(48.04/145.92) CI2	23(88)	住宅の	2-2		3122	
-429-	1136 m	[2] 収第[5.76/17.28] □3	26(恵下・キッチン)	住宅-1	9-2		非居室	
3/20-1		→ ○ 宮積対象外延べ貫積対象[34.61/106.29] 第	21(想塑)	住宅	9-2		+ 旭里	
1 1		> → □ /0i-30-[12.80/38.40] 第UU	22(404)	住宅-2	9-2		(2)病	
/ \	6 0 0	[8] /0L32-[12.80/38.40] 24	Z1(便所)	住宅-6	9-5		非层定	
	- 1.446	○ 共用部下等[21.81/67.89] 第Ⅳ	24(洗算脱衣室)	住宅-6	2-5		計画室	
1000		[6] 四月二日(15-36)46.081 CS	25(68/81)	住宅-6	9-2		11.52.00	
	KI I X X	[30] #J####\$[0.45(21.61) [16		10100-0			****	-
1			1 11			_		_



記号	光算相	煎精
Ð	8,188×1,880	4,968848
Ø	4.000×1.680	8.4030.00
٢	4.090×1.680	8.4310-00
۲	8,180×1,680	4,3608.08
6	3,189×1,680	4,360008
٢	4.080×1.080	8,403838
0	4,010×1,680	8,4030.00
0	8.180×1.680	4.361848
0	0.995×1.680	1,442038
0	0.990×1.090	1,443898
٢	8.988×1.680	1.440000
1	0.996×1.880	1,440808
D	1,010×1,010	1,602808
Ð	1.080×1.680	1,601818
٢	1.086×1.680	1.603808
٩	1.080×1.680	1,603848
0	1.930×1.630	1.600000
٢	1,080×1,680	1,6008.08
6	1.000×1.600	1,608808
⑧	1.000×1.880	1.6000.00
Ð	1,880×1,880	2.000800
٢	1,000×1,600	2,891818
٢	1,880×1,680	2.00000
Ø	1,000×1,000	2,00000
$\mathcal{O}$	8,890×1,600	8.093608
۲	\$,880×1.680	8.093848
٩	3,080×1,080	1.091818
٢	8.880×1.680	8.008008
٢	1.010×8.200	1.200848
1	1,000×8,280	1.201111
1	1.080×3.200	8.203898
٢	1.000×3.200	1.204636
0	1.210×12.101	15.360800
٢	3.850×0.975	1.753758
0	2.858×1.020	2,703848





[操作手順]

1) 「出力の設定」を選択します。



- 2) 「出力の設定」ダイアログが開きます。
- 3) 「ワークシート」を選択します。
- 4) 出力するフロアを選択します。
- 5) 「OK」を選択します。
- 6) ワークシートの求積表及び求積図が更新されます。
- 7) 求積表または求積図を配置している「レイアウトブック」を開きます。
- 「更新タイプ」が「自動」の図面の場合は、自動で図面が更新されます。
   「更新タイプ」が「手動」の図面の場合は、更新する図面を選択し右クリックメニューの「更新」を選択します。



図面が更新されます。



記号	計算的	图网
1	1.000×3.200	3,200011
00	1.000 × 3,200	3,200011
0	1.000 × 3.200	3,200011
120	1.880×3.208	3.200011
٢	1,200×12,000	15,380488
00	\$.450×1.021	2,703048
Ð	1.150×0.975	3,753751
0	8.888×1.608	1,440088
Ð	1.000 × 1.000	1,600031
0	1.100×1.001	1,600031
0	1.111 × 1.601	2.880010
0	1.000×1.000	6.000088
0	1,100×1,001	4,300011
0	4,800×1,608	8,400088
(II)	1.100×1.001	1,440088
(D)	1.101×1.601	1,000018
Ø	1.000 <1.000	1,800010
Ð	1,000 × 1,000	2,880011
動	1.100×1.601	6,000014
Ð	4.111 × 1.001	6,400031
Ð	1,100×1,600	4,960088
O	1.881 × 1.691	1,440088
Ð	1.111×1.601	1.000011
Ð	1.000 001.000	1,600011
Ð	1.888 × 1.608	2,880011
Ø.	1.411 × 1.601	8,0000.8
00	3.100 × 1.600	4,980011
(D)	4.100×1,601	8,400031
٢	1,000×1,600	1.440088
6	1.001 1.001	1.800011
D	1.000×1.600	1,600011
0	1,000 × 1,000	2,890011
Ø.	1.000 001.000	6,060031
(D)	1.180×3.208	9,920011
# 7 表出力

## 7-1 はじめに

- 求積表及び求積図を出力します。
- Excel(.xls形式)、CSV(.csv 形式)、またはワークシートに出力できます。
- ※ プロジェクトファイルの名前が「名称未設定」の場合、Excel 出力はできません。
- ※ Excel 出力は Windows 版のみの機能です。

#### 7-1-1 「出力の設定」ダイアログ



番号	項目名		内容					
		出力形式を選択し	ます					
		EVCEI	.xlsx 形式または.xls 形式で求積表を出力します					
1	出力形式選択	EACEL	Windows 版のみの機能です					
		CSV	.csv 形式で求積表を出力します					
		ワークシート	ワークシートに求積表及び求積図を出力します					
		出力形式でワーク	シートを選択した場合に求積表の出力方向を選択します					
		横に並べて出力	求積表を横に並べて出力します					
0	出力方向選択	縦に並べて出力						
2		(位置指定)	水損衣の位置を相定して、縦に並って山力しより					
		縦に並べて出力						
		(表間指定)	水損衣の衣间を相定して、縦に並って山力しより					
3	建物面積表:坪を表示	建物面積表の合言	+欄に坪表記を表示します					
4	自動分割区画を表示	フロア別求積図に	自動分割区画求積図を表示します					
5	名前	フロアの名前を表	示します					
		計算パターンの名	前を表示します					
6	計算パターン名	チェックを入れたフロアを出力します						
		※集計対象外のス	クロアは選択できません					

#### **7-1-2** Excel 形式で出力する

- プロジェクトファイルと同じ場所に、「プロジェクトファイル名 求積表.xls または.xlsx」の名前で保存されます。
- ※ 求積表の数値を出力するもので、関数計算式は定義されません。
- ※ビルド番号が「16.0」以降の Excel のバージョンに対応しています。ビルド番号「15」以前のバージョンの場合、 出力できない場合があります。

[操作手順]

- 1) 「出力形式選択」より、「EXCEL」を選択します。
- 2) 「.xlsx」または「.xls」を選択します。
- 3) 各種設定をします。
- 4) 出力するフロアを選択します。
- 5)「OK」を選択します。
- 6) 確認ダイアログが開きます。
- 7)「OK」を選択します。
- 8) Excel が開きます。

#### 7-1-2-1 自動分割区画求積表

#### ○「各室'計算パターン名'」シートに出力されます。

1 14	6	Ç.	D	÷E	E ;	0	H	1	1	- 0K	6	W.	1.31	0	8,1	19
-	1/-28	2+24	-920	V-20	177921	1792	オブジェン	12.4	49	計算式.	I.A					1
1 31	住宅	産業	21	< 9 10 12	101	学種シート	東京	0	1	3.100 ~ 2	84.48					
121	住宅	米田	21	19/10/20	01	液積シー	発言	0.1	2	4.000 - 1	04.80					
() FL	建用る	你称	22	4)/-31	(G).	が増ソー	ittim.	0	2	0.000 = 1	44.0					
1 3FL	注宅-6	使称	<i>t</i> 3	< 1/->	01	オポジー-	非営業	Ó.	4 :	1,000 - 1	1.60					
1 3FL	建亚·6	法重担任3	24	17-2	101	け惜ワー	非常常	0	E	1.000 = 1	1.60					
1 FL	住宅-6	対象	25	=1/->	101	オ場マーク	印展堂	0	8	1.800 = 1	2.88					
1 3FL	11年1	田下・オー	25	< 91-21	01.	求増ウール	お見堂	0	3	3,800+1.	93.68					
0.9%	住宅	82	21	<9-24	101	11種(2-)	章型	0.	8.	4.000~1	56.40					
1 11	住地	保室	21	<1/->	01	求績ジー	「田田」	0	8	1100+1	39.28					
2316	住宅·2	(17.9)	22	< V = 34	eot.	び様ワー	126	0	30	0.000 - 1	1.11					
I FL	. 建用-6	使用	23	11/1-21	01	状態ワー	非常宽	0	11	1/003 = 1.	01.60					
4:3FL	注宅・6	10 M 10 / 1 3	24	< 2-2	101	けほソー	目前面	0	3.7	1.000 - 1	1.60					114

#### 7-1-2-2 建物求積表

○「'計算パターン名'」シートに出力されます。

	- F.	- <u>C</u> -	- D	E	Ŧ	-16	- 91	1	- A		. L.	- M-		0	F.	
													历工度地			
						1.5					in costa	這つ遺種				
				nite de la	容操行曲度	19	1			1.000	容易的条件	后一团接到	t#			
			1	実生	1.1.1.1.1.1		11532-	s – 0		内所在下来	6					
	82	外居室	(())的			75.6:当主一		林馬田下	大常福行							
3FL	35,44	48.64	5.76	99.84	- 39.84	12.8	17.8	15.35	7.88	15.04	35.84	135.88	335.68			
241.	-6.44	45.52	5.76	99.84	22.84	32.6	12.8	15.36	7.88	23.04	25.84	129.44	135.68			
191.	-85.44	41.54	5.78	10.84	29.80	11.6	12.8	19.36	0.45	21.81	36.61	136.65	116.85			
#計	130.32	\$45.32	17.28	393.52	218.52	38.4		40.58	21.81	61,00	105.29	405.81	405.01			
余歌(年)	41.23	34.14	5.22	90.5	90.5	113.81	17.61	1133	5.50	28.53	37.15	122.75	322.75			
	1	1.000	1. 1.	1.000		100.00	1-111				10		110.10.1			
	吉里 液明	1011	絶称手には	1 1011 11	R-(2) (#	#14(3)	Meett.	6		a).						Ð

#### 7-1-2-3 フロア別求積表

○「'計算パターン名' 'フロア名'('フロア番号')」シートに出力されます。

4			0	D	E	. F.	0	2.94	. I	- V.		1.6	M	- 94	0	P :	10
1	記号	計算式	218		D1	12						1.0	(二)、東京)				ТU
2	01	3.100×1	\$4.390000		計算式	2.8						包号	計算式	12.10			
1	02	4.008 - 1	6,400000		01+024	45.44						01	1100 * 1	\$4.95	-		
4	Ca-	0.900 H L	£1.800000		由村:	45.44						OR .	4.000 + 1	\$0.03	1		
4	04	1.000 - 1	£1.600000									-	(作物)	11.30			
1	06	1.008 ~ [	EL 9999900		121	注意室											
Ť	CR I	1.800×1	\$2,880000		計算式	216							20(石橋)				
8	D1	3.890 ~ 1	66.380000		D4+O64	48.64						拉导	計算机	武壌			
	08	4.000 1	\$6,400000		+021+0	254 0 264	027+028					C8	0.900×1	£1.44			
10	Ce .	1.100 + 1	4 200000		48	46.64						1.1	会野	1.14	-		
11	C30	1 - 000.3	E1.840000			1						2		1000	10		
12	On.	1.000×1	£1.600000		121	1010							23(清村)	8	1		
13	012	1.000×1	1.900000		計算式	218						臣尊	計算式	1218			
14	218	1.800×1	\$2,880000		OHON	5.78						04	1.000 ~ 1	£1.90	1		12
		68.44	100	100 510	0.1.889.3	P.121	WE PHONE	1990012	1		47						

#### 7-1-3 CSV 形式で出力する

○ プロジェクトファイルと同じ場所に、「プロジェクトファイル名 求積表.csv」の名前で保存されます。 ※ 一つのシートに複数の求積表をまとめて出力します。

[操作手順]

- 1) 「出力形式選択」より、「CSV」を選択します。
- 2) 各種設定をします。
- 3) 出力するフロアを選択します。
- 4) 「OK」を選択します。
- 5) 確認ダイアログが開きます。
- 6) 「OK」を選択します。

	А	В	С	D	E	F	G	Н	I.	J	*
1	建物 1FL(	記号	計算式	面積							
2		01	3.100×1.6	4.96							
3		02	4.000×1.6	6.4							
4		⊖3	0.900×1.6	1.44							
5		<u> </u>	1.000×1.6	1.6							
6		⊖5	1.000×1.6	1.6							
7		○6	1.800×1.6	2.88							
8		07	3.800×1.6	6.08							
9		08	4.000×1.6	6.4							
10		<b>O</b> 9	3.100×1.6	4.96							
11		○10	0.900×1.6	1.44							
12		011	1.000×1.6	1.6							
13		012	1.000×1.6	1.6							
14		013	1.800×1.6	2.88							
15		014	3.800×1.6	6.08							
16		○15	3.100×1.6	4.96							
		プロジェクト	ファイル名 求	積表	<b>+</b>		: 4			•	Ŧ

7-1-3-1 フロア別求積表、建物求積表、自動分割区画求積表

#### 7-1-4 ワークシートに出力する

- 各求積表は、計算パターン別及び計算対象フロア別に、独立したワークシートを作成し出力します。
- 各求積表及び求積図は、オブジェクトとして出力されます。
- 一度出力した求積表を再度出力した場合、各求積表及び求積図が更新されます。
- 各求積表及び求積図のオブジェクト以外の要素は更新されません。
- フロア別求積表の各求積図は、求積図形の最右側を基準位置として配置されます。

#### [操作手順]

- 1) 「出力形式選択」より、で「ワークシート」を選択します。
- 2) 各種設定をします。
- 3) 出力するフロアを選択します。
- 4) 「OK」を選択します。

#### 7-1-4-1 フロア別求積表及び求積図

- ○「求積図 '計算パターン名' 'フロア名'」ワークシートに出力されます。
- ※下図は「横に並べて出力」を選択した場合の表示です。



#### 7-1-4-2 建物求積表

位于网络

○「求積図 '計算パターン名' 建物面積表」ワークシートに出力されます。

				<b>容積対象面積</b>		
			專有			バルコニー
居室	非居室	収納			バルコニー	
45.44	48.64	5.76	99.B4	99.84	12.80	12.80
毛.44	48.84	5.76	99.84	99.84	12,80	12.80
45.44	48.64	5.76	99.84	99.84	12.80	12.80
138.32	145.92	17.28	298.52	289.52	38.41	38.40
	居室 毛.44 毛.44 毛.44 138.32	居室 非居室 45.44 44.64 45.44 44.64 45.44 44.64 138.32 145.92	履室 非版家 (初納) 45.44 48.64 5.76 45.44 48.64 5.76 45.44 48.64 5.76 138.32 145.92 17.28	写変 本5.44 本5.44 本5.44 本5.44 本5.44 本5.44 本5.76 第8.84 5.76 第8.84 5.76 第8.84 5.76 第8.84 5.76 第8.84 5.76 第8.84 5.76 第8.84 5.76 第8.84 5.76 第8.84 5.76 88.84 5.76 5.78 5.88 5.84 5.76 5.88 5.84 5.76 5.88 5.84 5.76 5.88 5.84 5.76 5.88 5.84 5.76 5.88 5.84 5.76 5.88	写補対衆面補         写補対衆面補           原金         非届堂         取前           45.44         48.64         5.76         99.64         99.84           45.44         48.64         5.76         99.64         99.84           45.44         48.64         5.76         99.64         99.84           139.32         145.92         17.28         289.52         289.52	事者         事者         事者         「バルコニー           磁気.44         44.64         5.76         99.64         98.68         12.98           45.44         44.64         5.76         99.64         98.68         12.98           45.44         44.64         5.76         99.84         98.68         12.98           45.44         44.64         5.76         99.84         98.68         12.98           45.14         45.75         99.84         98.84         12.98           139.32         145.92         17.26         299.52         299.52         30.41

# 8 環境設定

# 8-1 はじめに

○ 本システムの環境設定を行います。

○ 設定内容のインポート及びエクスポートが可能です。

○ 設定した内容は、求積図形・求積計算には即座に反映されます。

○ ワークシートへの設定した内容の反映は表出力を行う必要があります。

∧ 環境設定								?	×
1 2	3	4	5	6	$\overline{\mathcal{O}}$	8			
端数処理 モード設定	計算パターン	記号·番号タイプ	面積表	建物面積表	図形1	図形2			
新規名調	前編集	削除 標準調	淀	~					
求積図形:	切り捨て	∼ 小数点第	6位 ~	]					
求積図形 List:	切り捨て	∼ 小数点第	5位 ~	]					
角度精度:	切り捨て	── 小数点第	6位 ~	]					
図形の寸法精度:	切り捨て	✓ 0.1mm <sup>1</sup>	単位 ~	]					
円周率:	切り捨て	√ 3.14159	2 ~	]					
🗾 面積の切り上げ	は1つ下の位で	処理する							
(U) (9) (U) (1/2%) (1/2\%) (1/2	ル 札 <sup>°</sup> ート D:¥ カス	éProgram Files¥ タム	GRAPHI	SOFT¥Archic	ad 27¥A	dd-Ons¥EPCO	) 4724	Ok	

番号	項目名	内容	Light
1	端数処理	端数処理パターンの管理及び設定をします	$\triangle$
2	モード設定	求積表及び求積図形の表示モードを設定します	$\triangle$
3	計算パターン	計算パターンの管理及び設定をします	×
4	記号・番号タイプ	記号・番号の組み合わせ毎の表示の設定をします	$\bigcirc$
5	面積表	フロア別求積表のワークシート出力の設定をします	$\triangle$
6	建物面積表	建物求積表のワークシート出力の設定をします	$\triangle$
$\bigcirc$	図形1	任意求積図形の三角形、四角形、台形の設定をします	$\bigcirc$
8	図形2	任意求積図形の扇形・弓型、円弧、正円・楕円の設定をします	$\bigcirc$
9	インポート	求積ツール設定ファイル(.dat)をインポートします	0
10	エクスポート	求積ツール設定ファイル(.dat)をエクスポートします	0

### 8-2 端数処理

○ 端数処理パターンの管理及び設定をします。

🔼 環境	設定		?	×
端数処理 〔] 新	里 モード設定 計算パタ ② 規 名前編集	-> 記号·番号917° 面積表 建物面積表 図形1 図形2 ③ ④ 削除 標準設定 ~		
5	求積図形: 切り捨て	✓ 小数点第6位 ✓		
⑥ 求	積図形 List: 切り捨て	✓ 小数点第5位 ✓		
$\overline{O}$	角度精度: 切り捨て	✓ 小数点第6位 ✓		
⑧ 図形	勿寸法精度: 切り捨て	▽ 0.1mm単位 ~		
9	<b>円周率:</b> 切り捨て	→ 3.141592 →		
10 🔽 🖻	ⅰ積の切り上げは1つ下のℓ	立で処理する		
۲)#°-	1/72#°-1	D:¥Program Files¥GRAPHISOFT¥Archicad 27¥Add-Ons¥EPCO カスタム	0	

番号	項目名	内容	Light
1	新規	端数処理パターンを新規作成します	×
2	名前編集	選択中の端数処理パターンの名前を編集します	×
3	削除	選択中の端数処理パターンを削除します	×
4	端数処理パターン選択	端数処理パターンを選択します	×
		求積図形求積表における求積図形の端数処理及び端数有効桁数	
5	求積図形	を選択します	$\bigtriangleup$
		※Light版の端数処理桁数は「小数点第6位」で固定です	
		小計フォルダ求積表、計算要素集計表及び自動分割区画求積表	
6	求積図形List	の端数処理及び端数有効桁数を選択します	$\triangle$
		※Light版の端数有効桁数は「小数点第0位~2位」までです	
		求積図形求積表における角度精度の端数処理及び端数有効桁数	
$\bigcirc$	角度精度	を選択します	$\bigtriangleup$
		※Light版の端数有効桁数は「小数点第0位~2位」までです	
0	図形の土汁炸炸店	求積図形求積表における求積図形の寸法精度の端数処理及び端	$\bigcirc$
0	区形仍为広相及	数有効精度を選択します	0
	田田交	円周率の端数有効桁数を選択します	
9		※Light版は「3.14」で固定です	
10	切り上げ処理	端数処理対象桁が「0」の場合の処理を設定します	0

8-2-1 面積の切り上げは1つ下の位で処理する

チェックを入れると、端数処理が「切り上げ」で、端数処理対象桁が「0」の場合に、切り上げ処理をしません。

例) 実面積:54.321012 m<sup>2</sup> 端数処理:切り上げ 端数有効桁数:「小数点第3位」

・チェック有の場合:54.322 m<sup>2</sup>

・チェック無の場合:54.321 m (小数点第4位が「0」のため、切り上げ処理をしません。)

# 8-3 モード設定

○ 求積表及び求積図形の表示モードを設定します。

● 環境設定		?	×
端数処理 モード 設定 計算パ ターン 記号・番号タイプ 面積表 建物面積表 図形1 図形2			
<ul> <li>① 図形番号編集のモード選択</li> <li>⑦ 作図・作表レイヤ</li> <li>● 番号ロックモード</li> <li>○ 自動リナンバリングモード</li> <li>② 都号□ックモーL</li> </ul>			
②     図形数値にカンマを表示 ⑧ 作図・作表レイヤ			
③   面積表数値にカンマを表示 ● ◎ 求積ツール ●			
<ul> <li>④ ■ 面積表数値の0を削除</li> <li>⑨ 長さの数値誤差の許容範囲: 0.01mm未満を0とする</li> </ul>	~		
(5) 2 長さ数値の0を削除			
⑥ 坪換算率: 0.30			
インボ <sup>o</sup> ート Iカスボ <sup>o</sup> ート D:¥Program Files¥GRAPHISOFT¥Archicad 27¥Add-Ons¥EPCO キカスタム	* <b>&gt;&gt;</b> 211	ОК	

番号	項目名	内容					
		求積図形作成パレッ 選択します	トの求積図形リストのリナンバリング方法を				
1	図形番号編集のモード選択	番号ロックモード	リナンバリングを手動で行います	×			
		自動リナンバリング モード	リナンバリングを自動で行います				
2	図形数値にカンマを表示	チェックを入れると、	求積図形長さ寸法表示を桁区切りします	×			
3	面積表数値にカンマを表示	チェックを入れると、	各求積表の面積を桁区切りします	×			
4	面積表数値の0を削除	チェックを入れると、	チェックを入れると、各求積表の面積の端数有効桁以下が 0				
		の場合に0を削除し					
5	長さ数値の0を削除	チェックを入れると、求積図形長さ寸法の端数有効桁以下が の場合に0を削除します					
		表出力に坪表示をす	る場合の換算率を設定します				
6	換算率	デフォルトは「0.3025	」です	0			
		※端数表示桁数は Archicad メニューで設定します					
$\overline{O}$	作図・作表レイヤ1	使用しません		0			
	作回, 佐吉1 ノキの	ワークシート出力する	る場合の、求積図及び求積表の書き込み	$\bigcirc$			
0	『F凶・『F衣レイ・Y Z	レイヤーを選択します	<del>}-</del>	0			
		求積図形の長さにお	らける、Archicad と本システムの数値誤差				
		の許容範囲を設定し	ます				
9	長さの数値誤差の許容範囲	処理しない	数値誤差の処理を行いません	0			
		***未満を0とする	選択した桁数未満を0として処理を行い				
			ます				

#### 8-3-1 図形番号編集のモード選択について

○求積図形作成パレットの求積図形リストで求積図形をドラッグで移動することで、求積図形の順序を変更する ことができます。

○「図形番号編集のモード選択」で選択したモードによって、番号の設定が異なります。

モード 概要			
来早ロックエード	求積図形の順序を変更した場合、番号を変更しません		
	求積図形を削除した場合、番号を欠番とします		
自動リナンバリングモード	求積図形の順序を変更や削除した場合、番号をリナンバリングします		

	00.000	100.00							
6	AB	3 23	400000	このことが語感					
0	0 ji	1,2,3	○ 開始番号:1	(1) 端数処理デフォル	: 第7位切	り捨て第6位			
記号	番号	記号者	机封算式	面積	端数処理	端影処理後面積	自動区案	改行	
0	1,2,3	01	4.000×1.600	6.40000000	テフォルト	6.400000	Z1(唐翟)	目動	
0	1,2,3	02	3.100×1.600	4.96000000	デフォルト	4.960000	Z1(居室)	自動	
0	1,2,3	03	$0.900 \times 1.600$	1,44000000	デフォルト	1.440000	Z2(収納)	目動	
0	1,2,3	04	$1.000 \times 1.600$	1.60000000	テフォルト	1.600000	23(便所)	自動	
0	1,2,3	Q5	1.000×1.600	1.60000000	デフォルト	1.600000	Z4(洗面脱衣盔)	日勤	
0	1,2,3	06	1.800×1.600	2,88000000	デフォルト	2.880000	25(语室)	自動	
0	1,2,3	07	3.800×1.600	6.08000000	デフォルト	6.080000	26(雪下・キッチン)	目動	
2	1.7.9	ICA.	3.100×1.600	4.9600000	7771.h	4.960000	71/国家)	自動	



○6の求積図形を○1と○2の間にドラッグして移動

示積:	リール 水種の	回形作成						2
۵.		00	00000	白く日福岡				
0	~ 1	1,2,3	<ul> <li>開始番号:1</li> </ul>	(1) 場款処理デフォル	ト:第7位切	り経て第6位		
肥务	물号	記号書	间計算式	面積	場数処理	端数处理接面積	自動区策	改行
0	1,2,3	01	4.000×1.600	5.40000000	デフォルト	6.400000	Z1(居室)	自動
0	1,2,3	02	3.100×1.600	4.9600000	デフォルト	4.960000	Z1(居室)	自動
0	1,2,3	C3	0.900×1.600	1,44000000	デフォルト	1.440000	Z2(収納)	自動
0	1,2,3	04	1.000×1.600	1.60000000	デフォルト	1.600000	Z3(便所)	目動
Ċ.	1.2.3	05	1.000×1.600	1.60000000	デフォルト	1.600000	24(法面脱衣室)	EM
0	v 1	06	1.900×1.600	2.88000000	₹	2.860000	25(浴室)	自動 ~~
0	1,2,3	07	3.800×1.600	6.08000000	デフォルト	6.080000	26(唐下・キッチン)	日助
2	1.2.3	CR.	3.100×1.600	4.9600000	77#ILŀ	4.960000	71/保密)	E81



・自動リナンバリングモード

示積:	ール求機の	同形作成		
۵.		20	A0000	白く日福岡
0	~	1,2,3	<ul> <li>開始番号1 1</li> </ul>	(1) 場款処理デフォルト
記号	콜号	記号書	<b>判算式</b>	面積
0	1.2.3	01	4.000×1.600	5,40000000
0	1 Inn 3	C6 -	1,800 - 1.600	2.8900000
0	1,2,3	C2	3.100×1.600	4.96000000
0	1,2,3	03	0.900×1.600	1.44000000
0	1,2,3	04	$1.000 \times 1.600$	1.60000000
0	1,2,3	C5	1.000×1.600	1.60000000
0	1,2,3	07	3.800×1.600	6.08000000
2	1.2.3	OR.	3.100×1.600	4.9600000

○6 はそのままです

6.	12	212	000000	く見編感
0	~	1,2,3	→ 開始番号:1 (1	) 端额処理テフォル!
記号	番号	記号書	用計算式	面積
0	1,2,3	Q1	4.000×1.600	6.40000000
0	- Inte	02	1.800×1.600	2.88000000
0	1,2,3	C3	3.100×1.600	4,96000000
0	1,2,3	04	0.900×1.600	1.44000000
0	1,2,3	05	1.000×1.600	1,60000000
0	1,2,3	06	1.000×1.600	1.60000000
0	1,2,3	07	3.800×1.600	6,08000000
2	1.7.3	∩.R	3.100×1.600	4.9600000

移動した求積図形が〇2 にリナンバリングされます

### 8-4 計算パターン

○ 計算パターンの管理及び設定をします。

○ 作成した計算パターンはメインパレットの「計算パターンの追加」でプロジェクトに適用します。



番号	項目名	内容	Light
1	新規	計算パターンを新規作成します	×
2	複製	選択中の計算パターンを複製します	×
3	削除	選択中の計算パターンを削除します	×
	計算パターン化方	選択中の計算パターンを「計算パターンファイル形式(.dattree)」で保	$\sim$
(4)	前昇ハクシン休住	存します	^
5	計算パターン読込	「計算パターンファイル形式(.dattree)」を読み込みます	×
6	計算パターン選択	設定を行う計算パターンを選択します	×
$\overline{\mathcal{O}}$	追加	選択中の計算パターンに面積集計属性を追加します	×
		選択中の計算パターンの選択した小計フォルダを複製します	
8	複製	※選択した小計フォルダの下層の面積集計属性を含めて複製しま	×
		す	
9	削除	選択した面積集計属性を削除します	×
10	編集	選択した面積集計属性を編集します	×
(11)	計算パターンリスト	選択中の計算パターンを表示します	×

8-4-1 計算パターンリストの見方

8-4-1-1 面積集計属性について

○ 面積集計属性は「面積集計属性アイコン」+「面積集計属性の名前」+「端数処理省力表示」で表示されます。



8-4-1-2 面積集計属性アイコンについて

○ 面積集計属性の種類をアイコンで表示します。

※環境設定/計算パターンで設定可能な計算要素の集計タイプは「求積図形」のみです。

表示項目	アイコン	概要	
小計フォルダ		小計フォルダです	
計算要素		集計面積タイプが「求積図形」の計算要素です	

8-4-1-3 端数処理の省略表示について

○ 面積集計属性の端数処理設定を名前の後に表示します。

○「[フロア別求積表/建物求積表]」での端数処理を表示します。

○ 端数処理は「端数処理対象桁」+「端数処理方法」+「端数有効桁数」で省略表示されます。



8-4-2 計算パターンの作成・削除

8-4-2-1 計算パターンを新規作成する

- 計算パターンを新規作成します。
- 新規作成した計算パターンは最上層の小計フォルダのみ設定されています。

[操作手順]

- 1) 計算パターンの作成・削除行より、「新規」を選択します。
- 2) 「名前の編集」ダイアログが開きます。

🥂 名前の編	集	?	×
名前:			
	+p>21		к

- 3) 新規作成する計算パターンの名前を設定します。
- 4) 「OK」を選択します。

#### 8-4-2-2 計算パターンを複製する

- 選択中の計算パターンを複製します。
- 計算パターンに含まれる面積集計属性を含めて複製します。

- 1) 「計算パターン選択」プルダウンメニューより、複製する計算パターンを選択します。
- 2) 計算パターンの作成・削除行より、「複製」を選択します。
- 3) 「名前の編集」ダイアログが開きます。



- 4) 複製する計算パターンの名前を設定します。
- 5) 「OK」を選択します。

8-4-2-3 計算パターンを削除する

- 選択中の計算パターンを削除します。
- ※ 削除した計算パターンを元に戻すことは出来ません。

[操作手順]

- 1) 「計算パターン選択」プルダウンメニューより、削除する計算パターンを選択します。
- 2) 計算パターンの作成・削除行より、「削除」を選択します。
- 3) 確認メッセージダイアログが開きます。

∧ 求積ツ-	·JL	×
0	現在選択されている計算パター よろしいですか?	-ンを削除します。

4) 「はい」を選択します。

8-4-2-4 計算パターンを保存する

○ 選択中の計算パターンを「計算パターンファイル(.dattree 形式)」で保存します。

[操作手順]

- 1) 「計算パターン選択」プルダウンメニューより、保存する計算パターンを選択します。
- 2) 計算パターンの作成・削除行より、「計算パターン保存」を選択します。
- 3) 「名前を付けて保存」ダイアログが開きます。
- 4) 保存先を選択し、ファイルの名前を設定します。
- 5) 「保存」を選択します。

#### 8-4-2-5 計算パターンを読込む

○ 計算パターンファイル(.dattree 形式)を読込み、計算パターンを追加します。

- 1) 計算パターンの作成・削除行より、「計算パターン読込」を選択します。
- 2) 「ファイルを開く」ダイアログが開きます。
- 3) 読込む計算パターンファイルを選択します。
- 4) 「開く」を選択します。

8-4-3 計算パターンリストを編集する

8-4-3-1 面積集計属性を追加する

○ 選択中の計算パターンに面積集計属性を追加します。

・「計算パターン項目の追加」ダイアログ

∧ 計算パターン項目	の追加	?	×
<ul> <li>① タイプ</li> <li>○計算要素</li> <li>○小計フォルダ</li> <li>②</li> </ul>	②     端数処理       □     建物全体面積集計:未加       □     用途別面積集計:	主義 → 小数点第0位 主義 → 小数点第0位 二	~
● 要素名·小計名:		]	
		4774	ок

番号	項目名	内容			
1	タイプ	追加する面積集計属性のタイプを選択します			
		追加する面積集計属性の端数処理及び端数表示桁数を選択します			
2	端数処理	建物全体面積集計	建物求積表に反映されます		
		用途別面積集計	フロア別求積表に反映されます		
3	要素名·小計名	面積集計属性の名前を設定します			

[操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、小計フォルダを選択します。
- 2) 計算パターンの編集行より、「追加」を選択します。
- 3) 「計算パターン項目の追加」ダイアログが開きます。
- 4) 「タイプ」を選択します。
- 5) 「端数処理」を選択します。
- 6) 「要素名・小計名」を設定します。
- 7) 「OK」を選択します。
- 8) 選択した小計フォルダの下層に面積集計属性が追加されます。

#### 8-4-3-2 小計フォルダを複製する

- 選択した小計フォルダを同一階層に複製します。
- 選択した小計フォルダの下層の面積集計属性を含めて複製します。

- 1) 計算パターンリストより、複製する小計フォルダを選択します。
- 2) 計算パターンの編集行より、「複製」を選択します。
- 3) 選択した小計フォルダと同一階層に小計フォルダが複製されます。

#### 8-4-3-3 面積集計属性を削除する

- 選択した面積集計属性を削除します。
- 最上層の小計フォルダは削除できません。

#### [操作手順]

- 1) 計算パターンリストより、削除する面積集計属性を選択します。
- 2) 計算パターンの編集行より、「削除」を選択します。
- 3) 確認ダイアログが開きます。

∧ 求積ツ-	·lr	×
1	専有 を削除します。 よろしいですか?	
	いいえ	(tu)

- 4) 「はい」を選択します。
  - 8-4-3-4 小計フォルダを編集する
- ・「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログ

∧ 計算要素/小計フォルダの編集	?	×
① パターン名:		
②要素名·小計名: 延べ面積		
③ 端数処理		
建物全体面積集計:切り捨て > 小数点第2位	-	
用途別面積集計:切り捨て > 小数点第2位	~	
+t/2/		ок

番号	項目名			
1	い。 カニンタ	計算パターンの名前を	を設定します	
	ハターン名	最上層の小計フォルク	ダを選択した場合のみ有効です	
2	要素名·小計名	選択した小計フォルダの名前を設定します		
	端数処理	選択した小計フォルタ	の端数処理及び端数表示桁数を選択します	
3		建物全体面積集計	建物求積表に反映されます	
		用途別面積集計	フロア別求積表に反映されます	

- 1) 計算パターンリストより、編集する小計フォルダを選択します。
- 2) 計算パターンの編集行より、「編集」を選択します。
- 3) 「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログが開きます。
- 4) 各種設定をします。
- 5)「OK」を選択します。

8-4-3-5 計算要素を編集する

・「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログ

▲ 計算要素/小計フォルダ(	の編集			?	×
① パターン名:					
②要素名·小計名:	有1				
③ 端数処理					
建物全体面積集計:切	り捨て ~	小数点象	第3位	~	
用途別面積集計:切	り捨て ~	小数点	第2位	~	
			+p>211		ОК

番号	項目名				
	パターンタ	計算パターンの名前を設定します			
Û	//////////////////////////////////////	計算要素を選択した場合は無効です			
2	要素名·小計名	選択した計算要素の名前を設定します			
	端数処理	選択した計算要素の	端数処理及び端数表示桁数を選択します		
3		建物全体面積集計	建物求積表に反映されます		
		用途別面積集計	フロア別求積表に反映されます		

- 1) 計算パターンリストより、編集する計算要素を選択します。
- 2) 計算パターンの編集行より、「編集」を選択します。
- 3) 「計算要素/小計フォルダの編集」ダイアログが開きます。
- 4) 各種設定をします。
- 5) 「OK」を選択します。

# 8-5 記号・番号タイプ

○ 記号・番号の組み合わせ毎の表示の設定をします。

※ デフォルト表示は記号タイプ「〇」、番号タイプ「1,2,3」の組み合わせです。

▶ 環境設定	?	×
端数処理 モード設定 計算パターン 記号・番号タイプ 面積表 建物面積表 図形1 図形2		
① 選択する記号タイプ: 〇 2 選択する番号タイプ: 1,2,3 >		
③ 記号・番号ペン: 8 ┃ ■ ⑧ 塗潰タイプ: □ 背景 ▶		
④記号・番号フォント: MSゴ日本語 ∨ ⑨ 輪郭ペン: 1   ■		
⑤ 記号サイズ: 0.50 10 塗潰ペン: 19		
<ul> <li>⑥ 寸法表示: </li> <li>⑦ 塗潰背暴ペン: 0 Ø</li> </ul>		
⑦ 寸法サイズ: 0.50		
□ □ 塗りつぶし設定を無視する		
C 27¥ <sup>o</sup> -ト D:¥Program Files¥GRAPHISOFT¥Archicad 27¥Add-Ons¥EPCO キャンセル     カスタム	Ok	

番号	項目名	内容	Light
1	選択する記号タイプ	記号タイプを選択します	0
2	選択する番号タイプ	番号タイプを選択します	0
3	記号・番号ペン	記号・番号のペン番号を選択します	0
4	記号・番号フォント	記号・番号のフォントを選択します	0
5	記号サイズ	記号・番号のフォントサイズを設定します	0
6	寸法表示	チェックを入れると、求積図形の寸法を表示します	0
$\bigcirc$	寸法サイズ	求積図形の寸法サイズを設定します	0
8	塗潰タイプ	求積図形の塗りつぶしパターンを選択します	0
9	輪郭ペン	塗りつぶしの輪郭のペン番号を選択します	0
10	塗潰ペン	塗りつぶしパターンのペン番号を選択します	0
(1)	塗潰背景ペン	塗りつぶし背景のペン番号を選択します	0
12	塗りつぶし設定を無視 する	チェックを入れると、求積図形の塗りつぶし設定を無視します	0

8-5-1 記号サイズ及び寸法サイズについて

○ 記号サイズ及び寸法サイズは、1,000mmを基準とした倍率で設定します。

○ 記号サイズ及び寸法サイズは、縮尺に追従しません。



○ 記号内のフォントサイズ及び寸法のフォントサイズは、下表の通りです。

記号内のフォントサイズ	1,000mm×記号サイズ×0.8 記号サイズが 0.5 の場合、記号内のフォントサイズは 400mm となります
士注のフォントサイズ	1,000mm×寸法サイズ×0.5
142022421912	寸法サイズが 0.5 の場合、寸法のフォントサイズは 250mm となります

# 8-6 面積表

○ フロア別求積表のワークシート出力の設定をします。

∧ 環境設定					?	×
端数処理 モード設定	計算パターン	記号·番号917°面	積表 建物面積表	图形1 図形2		
<ol> <li>         求積図形求積表         ②         ②         ■ 記号加速表         ○     </li> </ol>	> )列幅倍率1 3.00	③ 列幅倍率2 <u>45.00</u>	④ 列幅倍率3 <u>12.00</u>	<ol> <li>① 線ペン: 4 Ⅰ</li> <li>① 文字サイズ(印刷時): 5.00 mr</li> </ol>	n	
<ol> <li>5 ≤ 記号列表示</li> <li>6 ≤ ヘッダー欄表示</li> </ol>	記号	計算式	面積	(13) フォント: MS日本副 (14) 文字ペン番号: 1 □		
⑦ 行高倍率 2.00 ⑧ 最大行数 100				(5) 文字ペン番号マイナス: 20 1 ■		
③表間列倍率1	① 表間行	倍率 <u>1</u>	ADHISOETXArch	icad 27¥Add-Ons¥EPCO		
【1)オ <sup>0</sup> ート】 エクス	<u>ポート</u> カス	Program Files∓GR 夕ム	APRISOFIFAIGI	icau 27年Aud-Olis年EPCO キャンセル	0	

番号	項目名		内容	Light	
		設定する求積表を選択します			
		求積図形求積表	求積図形求積表の設定を行います		
1	求積表選択	計算要素求積表	計算要素求積表の設定を行います	$\bigcirc$	
		小計フォルダ求積表	小計フォルダ求積表の設定を行います		
		自動分割区画求積表	自動分割区画求積表の設定を行います		
2	列幅倍率1	記号表示列の幅倍率を	と設定します	$\bigcirc$	
3	列幅倍率2	計算式表示列の幅倍率	率を設定します	$\bigcirc$	
4	列幅倍率3	面積表示列の幅倍率を	記定します	$\bigcirc$	
5	記号列表示	チェックを入れると、記	チェックを入れると、記号・番号表示行を表示します		
6	ヘッダー欄表示	チェックを入れると、へ	チェックを入れると、ヘッダー欄を表示します		
$\bigcirc$	行高倍率	行の高さ倍率を設定し	行の高さ倍率を設定します		
0	县十行粉	最大行数を設定します		$\bigcirc$	
0	取入11剱	最大 500 行です			
9	表間列倍率	表間の列倍率(横方向	の空き幅)を設定します	$\times$	
10	表間行倍率	表間の行倍率(縦方向	表間の行倍率(縦方向の空き幅)を設定します		
(1)	線ペン	表の罫線のペン番号を選択します			
12	文字サイズ(印刷時)	フォントサイズを設定します			
(13)	フォント	フォントを選択します			
14	文字ペン番号	文字のペン番号を選択	文字のペン番号を選択します		
15	文字ペン番号マイナス	負の値の文字のペン番	号を選択します	0	

8-6-′	1 求積図形求積表		
Ł	● 列幅倍率1 列幅倍率	2 列标	畐倍率 3
記号	計算式	面積	← ヘッダー欄
1	3.100×1.600	4. 960000	
2	1.800×1.600	2. 880000	← 行高倍率
3	4.000 × 1.600	6. 400000	
A	0 000 x 1 600	1 440000	
t	記号列		

8-6-2 計算要素求積表・小計フォルダ求積表・自動分割区画求積表

Ł	列幅倍率1 列幅倍率2	, −C	列幅倍≊	輕 3
施	L面積			
記号	計算式	面積		ヘッダー欄
VI	V	0.00		
	合計	0.00		行高倍率
Ł	記号列			

## 8-7 建物面積表

○ 建物求積表のワークシート出力の設定をします。



番号	項目名	内容	
1	列幅倍率2	列の幅倍率を設定します	0
2	行高倍率	行の高さ倍率を設定します	0
3	表間列倍率	表間の列倍率(横方向の空き幅)を設定します	×
4	表間行倍率	表間の行倍率(縦方向の空き幅)を設定します	×
5	線ペン	表の罫線のペン番号を選択します	0
6	文字サイズ(印刷時)	フォントサイズを設定します	0
$\bigcirc$	フォント	フォントを選択します	0
8	文字ペン番号	文字のペン番号を選択します	0



# 8-8 図形 1

○ 任意求積図形の三角形、四角形、台形の設定をします。

▲ 環境設定		?	×
端数処理 モード設定 計算パターン 記号・番号タイプ 面積表 建物面積表 図形1 図形2			
三角形       四角形         ① 斜線タイブ: なし       〇         ② 斜線ペン: 1       ●         ③ 斜線線種: 実線       ●         ④ 垂線タイブ: タイプ*2       ●         ⑤ 垂線ペン: 20       ●         ⑥ 垂線線種: 実線       ●	<ul> <li>台形</li> <li>① 斜線タイブ:×</li> <li>② 斜線ペン:1</li> <li>③ 斜線線種: 実線</li> <li>④ 垂線タイブ: タイプ<sup>2</sup>2</li> <li>⑤ 垂線パ<sup>6</sup> ターン: 左</li> <li>⑥ 垂線ペン:20</li> <li>◎ 垂線地球曲: 実線</li> </ul>	> > >	
⑦ ■ 垂線作成位置: 図形内に自動調整		'	
⑧ 記号オフセット X: 0.0       ④ 記号オフセット X: 0.0       ⑧         ⑨ 記号オフセット Y: 0.0       ⑤       記号オフセット Y: 0.0       ⑨	) 記号オフセット X: 0.0 記号オフセット Y: 0.0		
①ポート D:¥Program Files¥GRAPHISOFT¥Archicad 27¥Add-Ons¥EPCOT Softw カスタム	ware¥求積ツール¥診	0	

#### 8-8-1 三角形

番号	項目名	内容		Light
1	斜線タイプ	求積図形に表	示する斜線記号のタイプを選択します	0
2	斜線ペン	斜線記号のペ	ン番号を選択します	0
3	斜線線種	斜線記号の線	種を選択します	0
		垂線タイプを遅	き択します	
4	垂線タイプ	タイプ 1	直角記号を表示しません	$\bigcirc$
		タイプ 2	直角記号を表示します	
5	垂線ペン	垂線のペン番号を選択します		0
6	垂線線種	垂線の線種を	垂線の線種を選択します	
	垂迫作武位罢	チェックを入れ	ると、三角形の任意求積図形作成時に垂線が図形	$\bigcirc$
U	<b>亚</b> 禄作风位 <b>但</b>	内に収まるように自動調整します		$\cup$
0	記号ナフセット V	記号・番号の図	図心からの X 方向の表示位置を設定します	$\bigcirc$
0	記与オノビットス	単位は「m」です		$\cup$
	記 ー ナフセット V	記号・番号の図心からのY方向の表示位置を設定します		
9	記 方オノ セット Y	単位は「m」で	す	$\cup$

8-8-2 四角形

	, ., .,		
番号	弓 項目名 内容		Light
1	斜線タイプ	求積図形に表示する斜線記号のタイプを選択します	0
2	斜線ペン	斜線記号のペン番号を選択します	0
3	斜線線種	斜線記号の線種を選択します	0
4	記号オフセット X	記号・番号の図心からの X 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	0
5	記号オフセット Y	記号・番号の図心からのY方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	0

8-8-3 台形

番号	項目名	内容		Light
1	斜線タイプ	求積図形に表	示する斜線記号のタイプを選択します	0
2	斜線ペン	斜線記号のペ	ン番号を選択します	0
3	斜線線種	斜線記号の線	種を選択します	0
		垂線タイプを選	き択します	
4	垂線タイプ	タイプ 1	直角記号を表示しません	0
		タイプ 2	直角記号を表示します	
5	垂線パターン	垂線の位置を選択します		0
6	垂線ペン	垂線のペン番号を選択します		0
$\overline{\mathcal{O}}$	垂線線種	垂線の線種を選択します		0
0	ヨーナフォット V	記号・番号の図	┨心からの X 方向の表示位置を設定します	$\bigcirc$
0	記号オノセット X	単位は「m」です		$\cup$
	記 ー オフセット V	記号・番号の図心からのY方向の表示位置を設定します		
9	記方スノセット Y	単位は「m」で	す	U

8-8-4 垂線タイプについて



## 8-8-5 斜線タイプについて

斜線タイプ	図形
×	
/	Sector Se
/	

# 8-9 図形 2

○ 任意求積図形の扇形・弓型、円弧、正円、楕円の設定をします。

♪ 環境設定			?	×		
端数処理 モード設定 計算パターン 記号·番号タイプ 面積表 建物面積表 図形1 図形	¥2					
履形・弓形       円弧(3点)・円弧(中心角度)         ② 半径線表示:       □ 中心角表示:         ③ 半径線線種:       破線         ④ 垂線表示:       ③         ⑤ 垂線ペン:       1         ⑥ 垂線線種:       実線	正円 ① 半径線表示: < ② 半径線水ン: 1 ③ 半径線線種: 破線 →	構円         ① 半径線表示:         ② 半径線ペン:         1         ③ 半径線線種:         破線		]		
⑦記号オフセット X: 0.0	④ 記号オフセット X: 0.0	④記号オフセット X: 0.0				
<ul><li>(8)記号オフセット Y: 0.0</li></ul>	(5) 記号オフセット Y: 0.0	(5)記号オフセット Y: 0.0				

#### 8-9-1 扇形·弓型

番号	項目名	内容	Light
1	半径線表示	チェックを入れると、半径線を表示します	0
2	半径線ペン	半径線のペン番号を選択します	0
3	半径線線種	半径線の線種を選択します	0
4	垂線表示	チェックを入れると、垂線を表示します	0
5	垂線ペン	垂線のペン番号を選択します	$\bigcirc$
6	垂線線種	垂線の線種を選択します	0
7	記号オフセット X	記号・番号の図心からの X 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	$\bigcirc$
8	記号オフセット Y	記号・番号の図心からのY方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	0

### 8-9-2 円弧(3点)·円弧(中心)

番号	項目名	内容	Light
1	中心角表示	チェックを入れると、中心角を表示します	0
2	中心角ペン	中心角のペン番号を選択します	0
3	中心角線種	中心角の線種を選択します	0

※その他の設定は「扇形・弓型」の設定に準じます。

8-9-3 正円

番号	項目名	内容	
1	半径線表示	チェックを入れると、半径線を表示します	
2	半径線ペン	半径線のペン番号を選択します	0
3	半径線線種	半径線の線種を選択します	0
	ヨートフォット V	記号・番号の図心からのX方向の表示位置を設定します	
4	記方オノビットス	単位は「m」です	0
5	記 ー オフセット V	記号・番号の図心からのY方向の表示位置を設定します	$\bigcirc$
	記 方々 ノビツト Y	単位は「m」です	

#### 8-9-4 楕円

番号	項目名	内容	Light
1	半径線表示	チェックを入れると、半径線を表示します	0
2	半径線ペン	半径線のペン番号を選択します	0
3	半径線線種	半径線の線種を選択します	0
4	記号オフセット X	記号・番号の図心からの X 方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	0
5	記号オフセット Y	記号・番号の図心からのY方向の表示位置を設定します 単位は「m」です	0

# 9 注意事項

## 9-1 チームワークプロジェクトでの利用に関して

○ チームワークプロジェクトでは、メインパレットにチームワーク用コマンドが表示します。

- チームワークプロジェクトでは、同一フロアで複数名が同時に本システムを操作することはできません。
- 本システムで確保できる要素は、自動分画区画の元ゾーン及び求積ツール要素です。
- フロア別求積表は、選択したフロアのみ出力可能です。

#### 9-1-1 チームワークプロジェクトでのメインパレット

・フロアを確保していない場合



#### ・フロアを確保している場合

12 - C		の ~ 標準設定 ~
团 🗤 🗄 1F	L	
●フロァ編集可能	解放 🗌 建物面積表	
$(\overline{1})$	$(2) \qquad (3)$	

番号	項目名	内容		Light
1	確保状況表示	選択したフロアの自動分画区画の元ゾーン及び求積ツール要素の確保		
		状況を表示します		
		フロア未確保	選択したフロアで未確保です	0
		フロア編集可能	選択したフロアで確保しています	
0	確保/解放	選択したフロアの	自動分画区画の元ゾーン及び求積ツール要素を確保ま	$\cap$
2		たは解放します		0
3	建物面積表	チェックを入れると、建物求積表を出力します		$\bigcirc$

9-1-2 選択したフロアで確保ができない場合

○ 選択したフロアで確保ができない場合は、必要に応じて「要求」を行います。

[操作手順]

- 1) メインパレットから、「確保」を選択します。
- 2) 「最後の確保結果」ダイアログが開きます。

最後の確保結果		x
最後の確保操作の結果(要素数):		
	確保済	他の人との干渉
▼ プロジェクト領域ごとの要素		A
🔎 求積図 建物 1FL (個別)	0	22
		$\sim$
解放	開<	要求
		閉じる

- 3) 「要求」を選択します。
- 4) 「新規の所有権要求」ダイアログが開きます。

▲ 新規の所有権要求	?	×
宛先:		<b>!</b> ►
2		
要求: 求積図 建物 1FL (個別)の要素 ださい。	を承認し	τ< ^
		~
キャンセル 要求	ζ.	

5)「要求」を選択します。

### 9-2 ホットリンクデータの利用に関して

- ホットリンクデータを利用する場合は、ホットリンクを配置後に本システムを使用します。
- 本システムで設定済みのプロジェクトデータをホットリンクした場合、設定の反映はできません。

## 9-3 求積ツールオブジェクトを作成したデータの受け渡しについて

- 本システムをインストールしていない PC で、本システムの結果を保存しているプロジェクトデータを開くと、求 積図形及び求積表が欠落した状態となります。
- レイアウトブックの求積図形及び求積表は、図面ツールの「更新タイプ」を「手動」とすることで、欠落すること なくデータを受け渡しすることが可能です。
- ※ 平面図・ワークシートで欠落は発生しますが、出力用の図面レイアウトだけは伝達することが可能です。

1

	記号計算式	面積
•		4.960000
	2 4.000×1.600	6.400000
2000 =	🖊 選択した図面の設定	? × 🛄
	立,	選択内容: 1 編集可能: 1 00
	▼ E <sup>0</sup> 図面ID	00
		2 或積図 00
		00
/\  >8K II @E   @E   @E   []		1階式時回 00
	ソースファイル: 内部	00
	ARCHICADビュー: ¥test¥求積図 1階求積図	00
		00
	更新タイプ: ④ 自動	最終変更日: 2022/01 13:42 00
	○手動	更新状況: OK 00
	✓ プロジェクトファイルに図面を保存	00
	注記: 図面マネージャパレットを使用してソースを修正し、この図	面を更新します。 00
4000 3800		00
	▶ 📴 サイズと表示	00
/\  XBX = BXB2   W22   W22 = { \	▶ 🛄 枠	00
	> 〒 タイトル	00
	▶ ☆↓ タイトルテキストスタイル	00
		00
		00
		00
4000 3800 1200		+7701 UK 00
	(7) 1.000×3.200	3.200000
	(1.200×12.800	15.360000
1階求積図 1:100	3.850×0.975	3.753750
	2.650×1.020	2.703000

# 10 その他

# 10-1 Light 版の機能制限

	項目	製品版	Light 版
	フロア内容のコピーペースト	0	×
	環境設定の計算パターンの追 加	0	×
メインパレット	現在の計算パターンをプルダウ ンメニューに追加	0	×
	計算パターンの削除	0	×
	計算パターンの選択	0	X
	端数処理パターンの選択	0	×
	求積図形	小数点第0位~6位	小数点第6位で固定
	求積図形 List	小数点第0位~6位	小数点第2位まで
<b>填現設</b> 正	角度精度	小数点第0位~6位	小数点第2位まで
(师毅处理)	円周率	小数点第2位~9位	小数点第2位で固定
	端数処理パターン作成	0	×
環境設定	図形番号編集のモード選択	番号ロックモード、自動リ ナンバリングモード	番号ロックモードのみ
(モード設定)	図形数値にカンマを表示	0	×
	面積表数値にカンマを表示	0	×
環境設定	計算パターン作成・複写・削除	0	×
(計算パター	計算パターン保存・読込	0	×
ン)	計算パターン編集	0	×
環境設定 (面積表 建	表間列倍率	0	×
物面積表)	表間行倍率	0	×
自動分割区画	自動分割区画自動生成の種類	全て三角形、矩形横型、 矩形縦型、図形内分解、 穴に求積区画を作成	全て三角形、矩形横型の み
<b>步</b> 辖回形作式	リナンバリング	0	×
水傾凶が下成	改行	自動改行、手動改行	手動改行のみ
	要素・フォルダを元に戻す	0	×
	計算パターンの表示項目を編集	0	×
	自動分割区画リスト	0	×
	名前(階)	0	×
面積表作成·	求積表の種類	計算式集計または一覧表 集計	計算式集計のみ
編集	集計面積	求積区画、自動作成区 画、求積区画+自動作成 区画、任意入力	求積区画のみ
	 改行	自動改行、手動改行、任 意入力	手動改行のみ
	色	0	×

## 10-2 各種設定ファイルの保存場所

○ 本システムで自動的に作成される各種設定ファイルは以下の場所に保存されます。

Windows 版	ドキュメント¥EPCOT Software¥ArchiCAD**¥求積ツール	
Mac 版	(Finder)書類/EPCOT Software/ArchiCAD**/求積ツール	

※ \*\*はバージョンを示します。

※ 上記フォルダは本システムのデータに関連するファイルが保存されるため、削除しないでください。

## 10-3 サポートに関して

○ 本システムに関するお問い合わせは、原則としてメールのみの対応とさせて頂いております。

○ 必要事項を記載の上、support@epcot.co.jp まで御連絡ください。

○ 集計結果に関するお問い合わせ等、データを拝見しないと確認できない場合もありますのでご了承ください。

・お問い合わせ必要事項

保守契約番号(Light 版の場合は Light 版である旨) 御社名 御連絡先 内容(できるだけ具体的に)

・本書およびこのプログラムは、著作権上、生活産業研究所株式会社に無断で使用、複製することはできません。

・このプログラムは、使用する本人がバックアップの為にコピーする場合を除き、コピーすることを禁じます。

・本書およびこのプログラムの運用上のトラブルについては、責任を負いかねます。

・本書およびこのプログラムの内容は、予告なしに変更することがあります。
製作・発行 生活産業研究所株式会社 〒153-0043 東京都目黒区東山 1-6-7 フォーラム中目黒

2024年4月初版

求積ツール for ARCHICAD Ver11 リファレンスマニュアル